

市民満足度調査報告書

令和6年2月

鳥 栖 市

目 次

第1章 調査の概要.....	1
1. 調査の概要.....	1
(1) 調査の目的.....	1
(2) 調査の設計.....	1
(3) 回収の結果.....	1
(4) 報告書の見方.....	1
第2章 調査結果要旨.....	2
第3章 調査の結果.....	6
1. はじめに、あなたご自身のことを教えてください。.....	6
2. 鳥栖市のことについて、お聞きします。.....	8
第4章 調査票.....	47

第1章 調査の概要

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

鳥栖市に在住する市民の意識を調査することで、「第7次鳥栖市総合計画（令和3年度～令和12年度）」で掲げる6つの基本目標に基づき、「住みたいまち、活躍できるまち、選ばれるまち鳥栖ー“鳥栖スタイルの深化”ー」の実現に向けた取組の進捗状況を把握するため。

(2) 調査の設計

- 調査地域 鳥栖市
- 調査対象 令和5年9月1日現在で鳥栖市にお住まいの18歳以上の方。
- 調査方法 郵送による配付、郵送又はWEB回答による回収
- 調査期間 令和5年10月2日～令和5年11月30日
- 抽出方法 無作為抽出

(3) 回収の結果

発送者数	有効回収数	有効回収率
2,000人	909人	45.5%

(4) 報告書の見方

- 回答は、各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示しています。小数点第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答を求めた質問では、回答比率の合計が100.0%を超えます。
- 回答があっても、小数点第2位を四捨五入して0.1%に満たない場合は、表・グラフには「0.0」と表記しています。

第2章 調査結果要旨

第7次鳥栖市総合計画で掲げる6つの基本目標ごとに、調査結果の主なものをまとめました。

◎基本目標 1.「自然との共生を図り、未来へつなぐまち」に関する調査（質問 1.2.3.31）

リサイクルには市民の9割以上が取り組んでいる。一方 CO₂排出削減については6割が「意識しているがなかなかできない」「何をすればいいかわからない」と回答。

- 資源物回収やリサイクルプラザへの資源物持ち込みなど、リサイクルへの取り組みについて尋ねたところ、全体の90%以上の市民が「毎回している」「たまにしている」「別の方法でリサイクルしている」と回答しました。一方、CO₂排出削減について意識しているか尋ねたところ、「意識しているがなかなかできない」「何をすればいいかわからない」との回答が全体の58.3%を占めました。
- また、リサイクルについて「毎回している」と回答した市民のうち、CO₂排出削減に「意識して取り組んでいる」と回答したのは70歳代以上では60.8%であるのに対し、30歳代以下は35%にとどまり、34%は「意識しているがなかなかできない」、21%は「何をすればいいかわからない」と回答しています。
- このことから、CO₂排出削減については、年代により意識の差があることがわかります。年代による意識の差を考慮し、リサイクル活動以外にも CO₂排出削減に繋がる活動をわかりやすく広報する必要があることがわかります。

◎基本目標 2.「快適な生活を支えるまち」に関する調査(質問 5.6.7.8.9.10.11.12.32)

渋滞しているイメージがあるのは生活道路より主要な道路（国道3号、34号、県道久留米基山筑紫野線、県道佐賀川久保鳥栖線など）。生活道路は、弥生が丘・旭地区で特に渋滞しているイメージがあり、歩行者や自転車の安全性に課題がある。

- 主要な道路に渋滞するイメージがあると回答した市民の割合は87.9%となっています。生活道路に渋滞するイメージがあると回答した市民の割合は67.1%となっており、市内の道路の渋滞は主要な道路でより起きていると考えている市民が多いことが分かります。
- 生活道路については、特に弥生が丘地区、旭地区で渋滞していると回答した市民の割合が高くなっています。弥生が丘地区、旭地区は歩行者や自転車にとって安全で快適だと思っていると回答した市民の割合も低くなっており、生活道路の交通量が多いことが原因の一つになっている可能性があります。

鳥栖駅周辺は「発展しているがまだ余地がある」、「あまり発展していないので不満」と答えた市民が 84.7%を占め、鳥栖駅周辺に期待する将来像としては「日常生活に便利な商業施設が充実した地区」との回答が多い。

- 鳥栖駅周辺の将来像についてたずねたところ、日常生活に便利な商業施設が充実した地区が 38.9%、バス等の公共交通機関や駐車場、駐輪場など交通の利便性の高い地区が 21.2%と多く挙げられていました。若い世代は商業施設の充実、年齢が上がるにつれ交通の利便性が重視されています。商業施設以外に充実させたい施設は、教育・文化施設が 38.9%と最も多く、30 歳代は子育て施設が 44.6%を占め、年齢が上がるにつれ介護施設を重視しています。
- 鳥栖駅周辺の活性化について「発展しているがまだ余地がある」、「あまり発展していないので不満」と答えた市民は全体の 84.7%を占め、将来像については、商業施設が充実した地区と答えている割合が 40.8%と最も多い結果となりました。

◎基本目標3.「安全で安心して暮らせるまち」に関する調査（質問 4.13.14.33）

防災について、73.9%の市民は防災への意識を持っており、関心は非常に高い。一方で「準備できている」と回答した市民は 11.1%に留まる。

- 災害情報の収集方法や避難場所の確認等、防災について「少し考えている」、「意識しているが難しい」と回答した市民は 73.9%にのぼり、市民の関心が非常に高いことがわかります。一方で「準備できている」と回答した市民は 11.1%に留まっています。
- 災害はいつか起きるものとの意識で、非常時の持ち出し品や備蓄品を準備すること、また、家中の安全対策を行うなど、市民の高い防災意識を準備に繋げるため、啓発等の取り組みが求められます。

◎基本目標 4.「誰もがいきいきと暮らせるまち」に関する調査 (質問 16.17.18.20.23.24.25.34)

高齢者の町内会活動、ボランティア活動、まちづくり推進センターの活動など、地域活動への参加意識は高く、健康づくりや生涯学習の分野からも、高齢者が地域で活発に活動していることが読み取れる。一方で、地域活動に参加したことがない若い世代に対し、参加を促す工夫が求められている。

- 町内会活動やボランティア活動について、「できるだけ参加している」と回答した市民は 26.5% であり、回答割合が最も多いのは 70 歳代以上でした。まちづくり推進協議会の活動に対しても「できるだけ参加している」の回答割合が最も多いのは 70 歳代以上であることから、高齢者の地域活動への参加意識が高いことがわかります。
- 高齢者の健康づくりについて、取り組んでいるイメージがある 70 歳代以上の割合は 70.3% と高く、町の教室や公民館で取り組んでいるイメージが 59.4% と最も高くなっています。生涯学習について、公民館やまちづくり推進センター等で行われている講座や教室へ「よく参加している」との回答が最も多いのも 70 歳代以上であり、高齢者が町の教室や公民館などで活発に活動していることがわかります。
- 一方、30 歳代以下は町内会活動やボランティア活動について、「できるだけ参加している」の割合は 18.1% と低いものの、「参加したくない」の割合も 9.3% と低く、49.3% が「参加したことがない」と回答しており、まちづくり推進協議会の活動に対しても同じ傾向がみられます。このことから、若い世代は地域活動へ参加したくないわけではなく、機会がないと考えていることがわかります。活動内容の周知や、参加しやすい内容にするなど、参加を促す工夫が求められます。

◎基本目標 5.「子どもが心豊かに育つまち」に関する調査(質問 15.21.22)

充実させたい子育て支援は、育児不安の軽減。子どもの病気や育児の悩み、仕事と育児の両立など、保護者だけでは対応が難しい問題に対し、誰かに頼ることができるサポート体制が求められている。

- どのような子育て支援を充実させるべきか尋ねたところ、「育児不安の軽減」に関する回答が最も多く、育児の悩み相談の充実、子育て支援施設の充実、病児保育施設の整備、障害児支援の充実、子どもの医療費助成の拡充に関連する意見が多く寄せられました。
- 「育児不安の軽減」以外には、「子どもを預けて働ける環境の整備」、「子どもの遊び場・公園の整備」が続き、20 歳代は「子育て世帯への経済的支援」、30 歳代は「子どもの遊び場・公園の整備」、40 歳代、50 歳代では「子どもを預けて働ける環境の整備」に関する回答が多く、年代により充実させるべきだと思う内容は変化しています。

◎基本目標6.「活力と賑わいにあふれるまち」に関する調査（質問 26・35・36・37）

スポーツに親しんでいる市民の割合は38.4%と高く、充実させたい体育施設は、個人で気軽に利用できる施設、気候や時間に関らず利用できる屋内体育施設、多目的に利用できる屋外体育施設のニーズが高い。

- スポーツを観戦する、または自身でプレーする機会があると回答した市民の割合は、38.4%と高くなっています。
- 充実させたい体育施設については、スポーツジムやウォーキングコースなど、個人で気軽に利用できる体育施設のニーズが高いことがわかります。屋内体育施設やプールについては、夜間の利用や、料金が安価であること、雨天や猛暑など天候に影響されずに利用できることに関する意見が多く寄せられました。チームスポーツに関する回答には、野球、サッカー、バスケットボール等多目的に使用できる施設に関する意見が多く寄せられました。
- 自由記述の意見から、体育施設には、個人で気軽に利用できること、気候や時間に関らず利用できること、多目的に利用できることが求められていることがわかります。

◎「基本目標を推進するに当たっての考え方」に関する調査（質問 19.27.28.29.30）

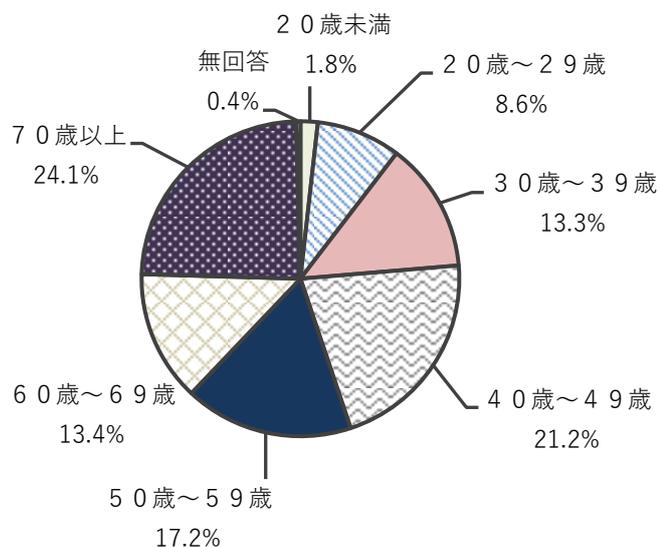
パソコンやスマートフォンから行政サービスの情報を得ることが浸透しつつある一方で、オンライン申請には年齢ごとに温度差が大きい。

- パソコンやスマートフォンから必要な行政サービスの情報を得ることができると回答した市民の割合は年齢階層が高くなるに従って低くなる傾向にあるものの、60歳代でも約半数(48.4%)が肯定的な回答をしており、パソコンやスマートフォンから行政サービスの情報を得ることが一般化しつつあることが分かります。
- 一方で、オンライン申請などのデジタル化された行政サービスについては、利用を希望する市民の割合は年齢階層が高くなるに従って低くなる傾向にあります。このことから、パソコンやスマートフォンから行政サービスの情報を得ることに比べてオンライン申請などのデジタル化された行政サービスについてはハードルが高いことが分かります。今後、市民サービス向上を図るため、高齢者層を中心に啓発などの取り組みが求められます。

第3章 調査の結果

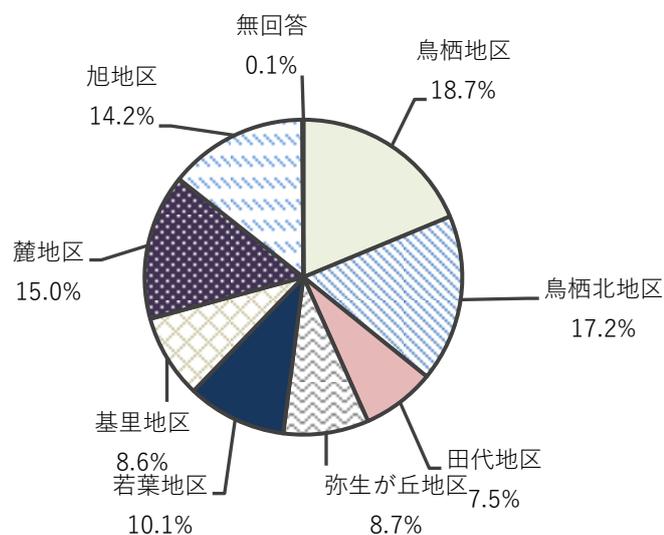
1. はじめに、あなたご自身のことを教えてください。

1. あなたの「年齢」を教えてください。



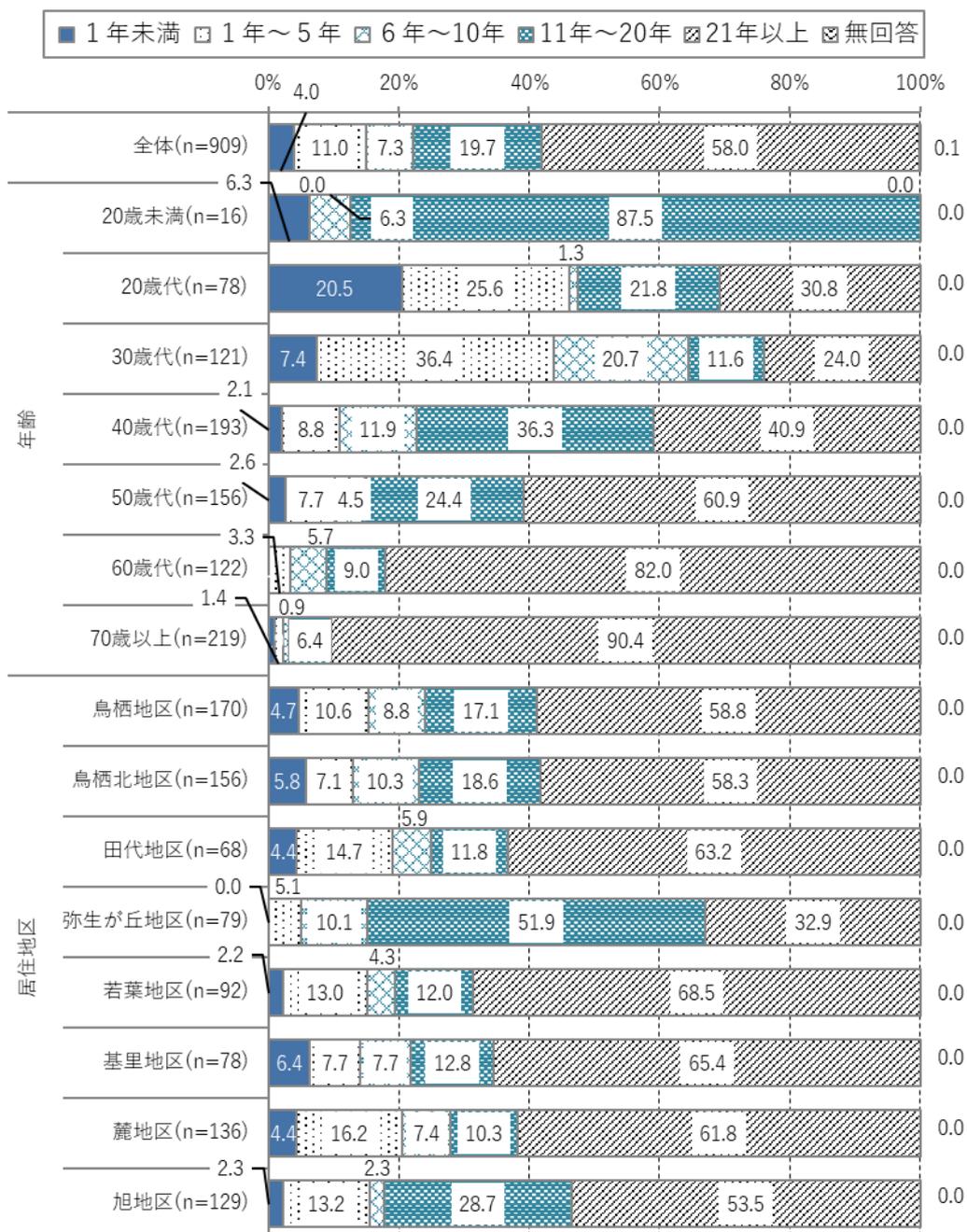
n=909

2. あなたが「現在お住いの地区」を教えてください。



n=909

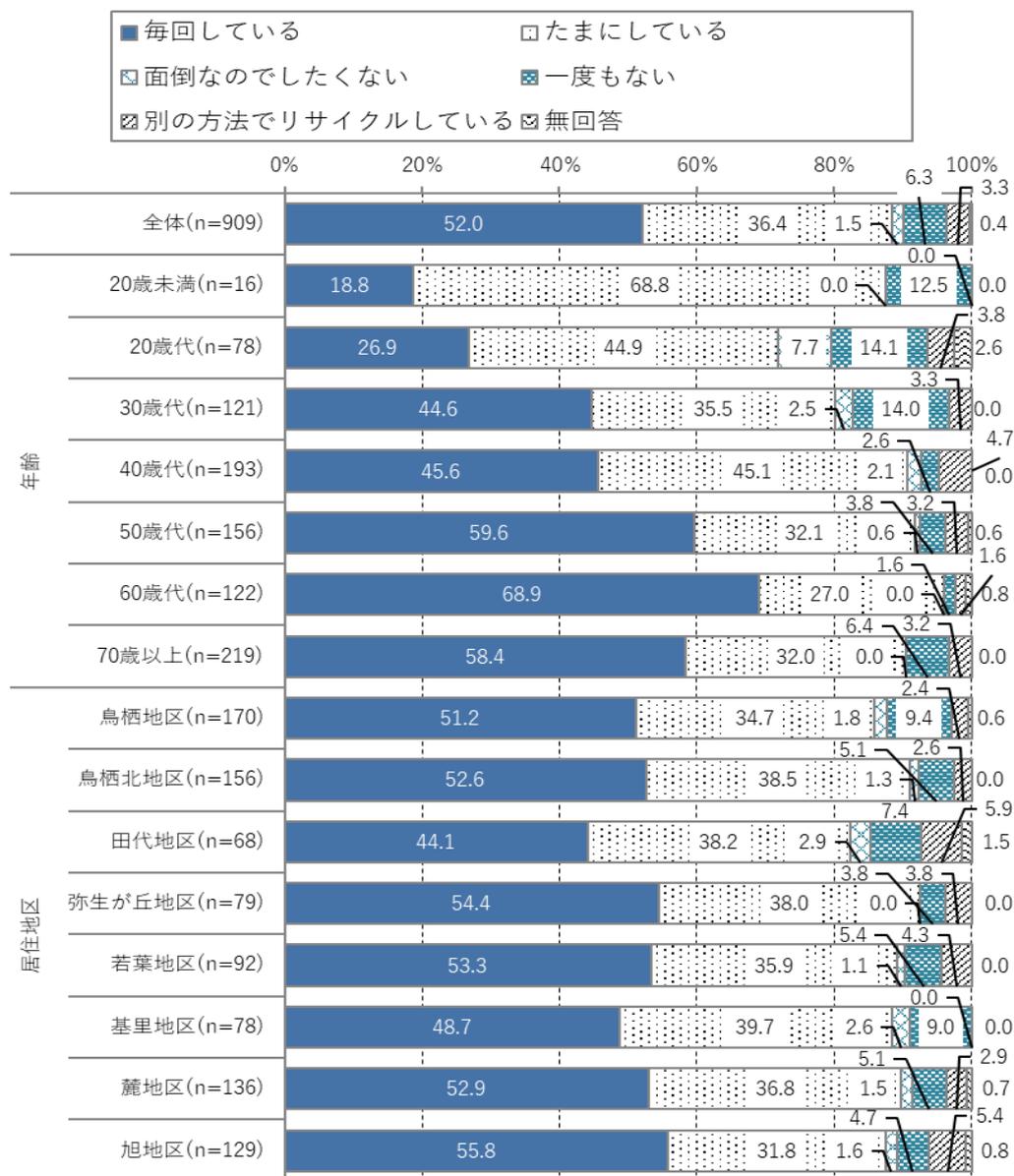
3. あなたの「鳥栖市での居住年数」を教えてください。



- あなたの「鳥栖市での居住年数」を教えてくださいとたずねたところ、「21年以上」と回答した人の割合が最も高く58.0%となっていました。次いで、「11年～20年」(19.7%)、「1年～5年」(11.0%)が続いています。
- 弥生が丘地区は「11年～20年」と回答した割合が半数を超えています。

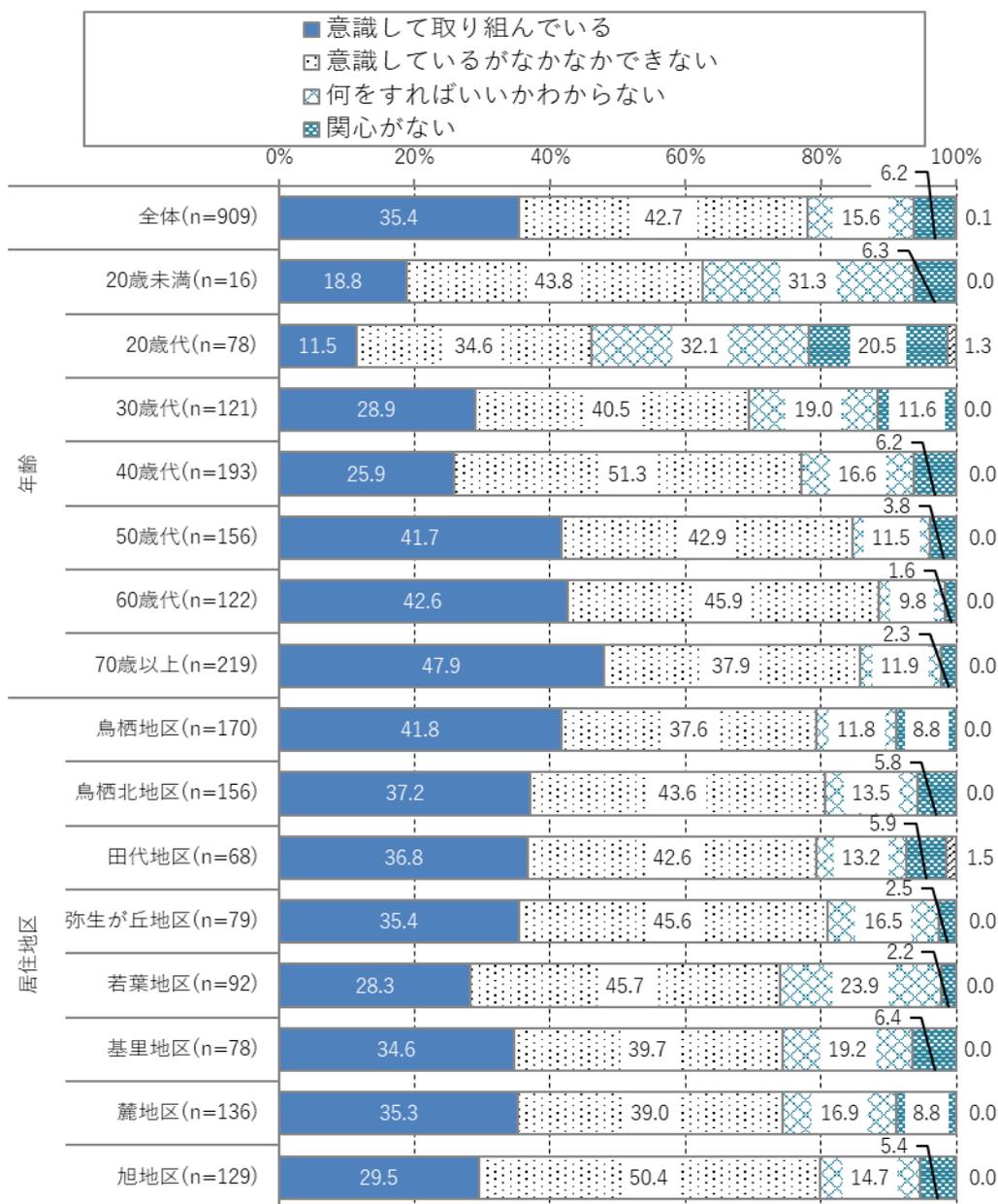
2. 鳥栖市のことについて、お聞きします。

質問 1 環境に関して、お聞きします。鳥栖市では、環境保全活動に取り組んでいます。町区で行われている資源物回収や、リサイクルプラザへ資源物の持ち込み等でリサイクルをしたことがありますか？



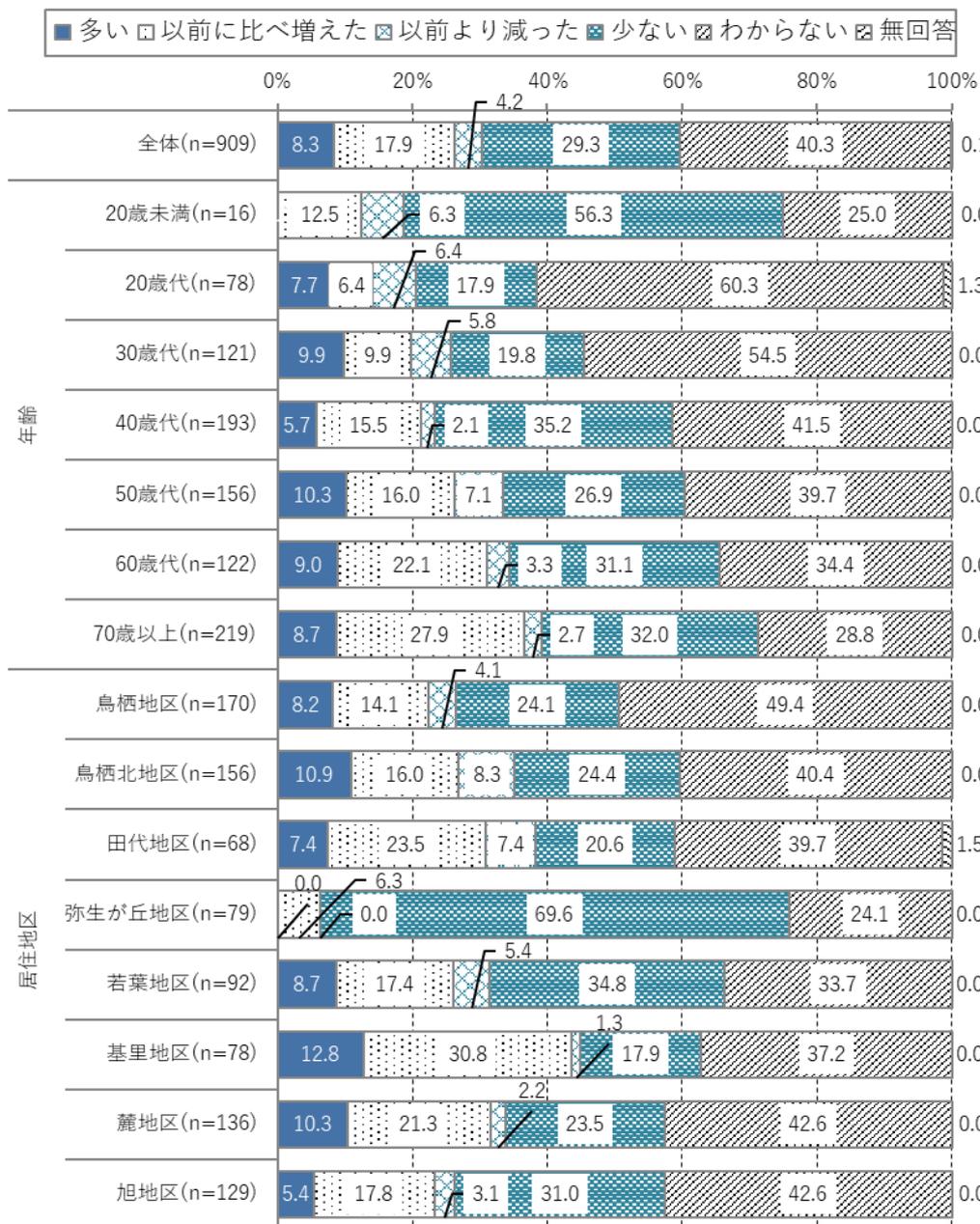
- 環境に関して、お聞きします。鳥栖市では、環境保全活動に取り組んでいます。町区で行われている資源物回収や、リサイクルプラザへ資源物の持ち込み等でリサイクルをしたことがありますかとたずねたところ、「毎回している」と回答した人の割合が最も高く 52.0%となっていました。次いで、「たまにしている」(36.4%)、「一度もない」(6.3%)が続いています。
- 「毎回している」の回答は概ね年齢階層が高くなるに従って増加する傾向にあり、60歳代は 68.9%にもなります。若年者が比較的低い理由としては、同居家族にリサイクルを任せている可能性もあります。

質問 2 環境に関して、お聞きします。鳥栖市では、ごみ減量化やリサイクルの推進に取り組んでいます。普段の生活で CO₂（二酸化酸素）排出削減について意識していますか？



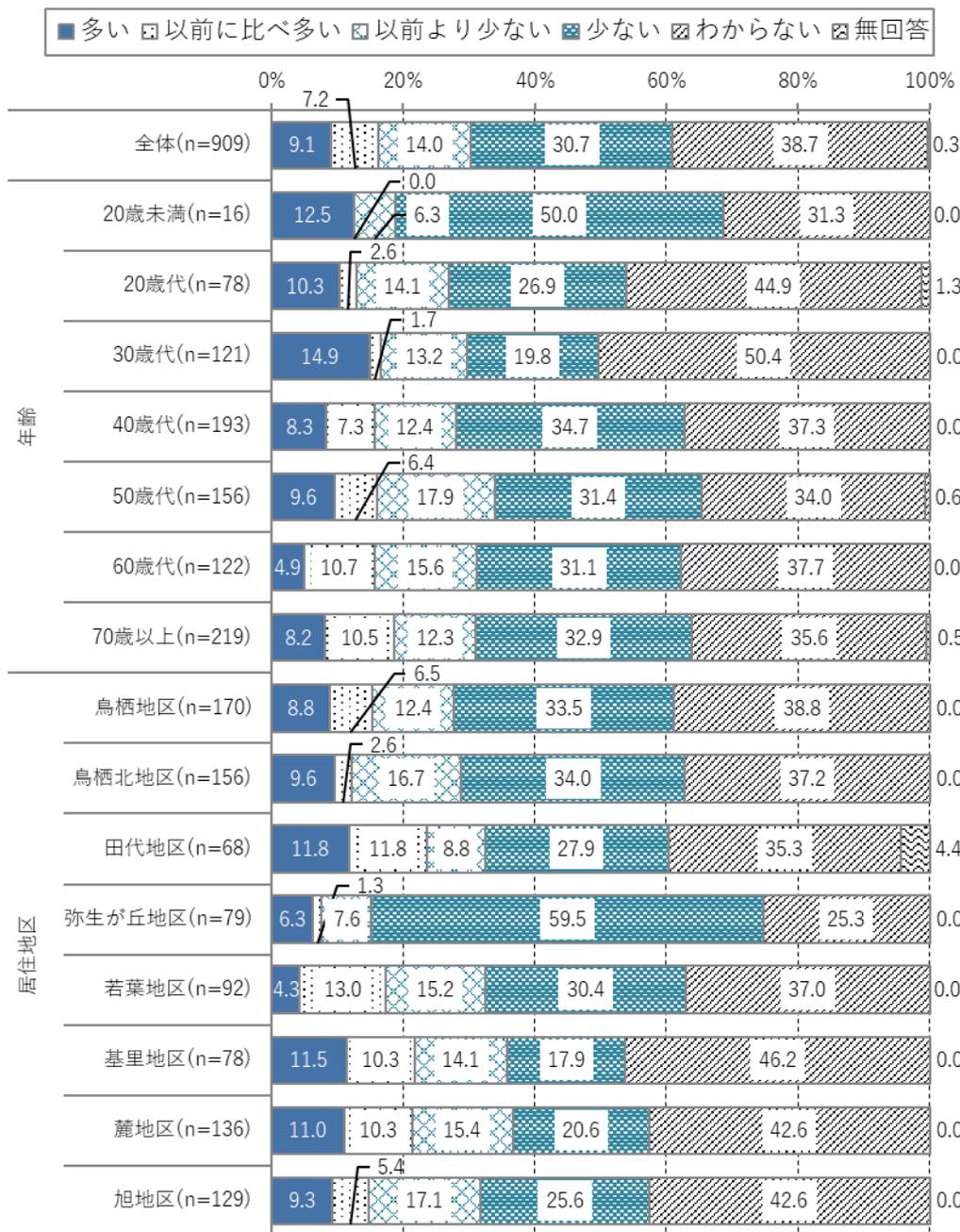
- 環境に関して、お聞きします。鳥栖市では、ごみ減量化やリサイクルの推進に取り組んでいます。普段の生活で CO₂（二酸化酸素）排出削減について意識していますかとたずねたところ、「意識しているがなかなかできない」と回答した人の割合が最も高く 42.7%となっていました。次いで、「意識して取り組んでいる」(35.4%)、「何をすればいいかわからない」(15.6%)が続いています。
- CO₂（二酸化酸素）排出削減について意識は、50歳代以降に強まっていることが分かります。特に70歳以上は47.9%と、すべての年齢階層で最も高くなっています。
- 居住地区別に見ると、若葉地区が「意識して取り組んでいる」と回答した人の割合が比較的低くなっています。その原因として、「何をすればいいかわからない」と回答した人が他の地区に比べて高くなっていることが見て取れます。

質問 3 土地利用計画に関して、お聞きします。鳥栖市では、自然環境と調和した計画的な土地利用に取り組んでいます。お住いの地区には空き家が多いと思いますか？



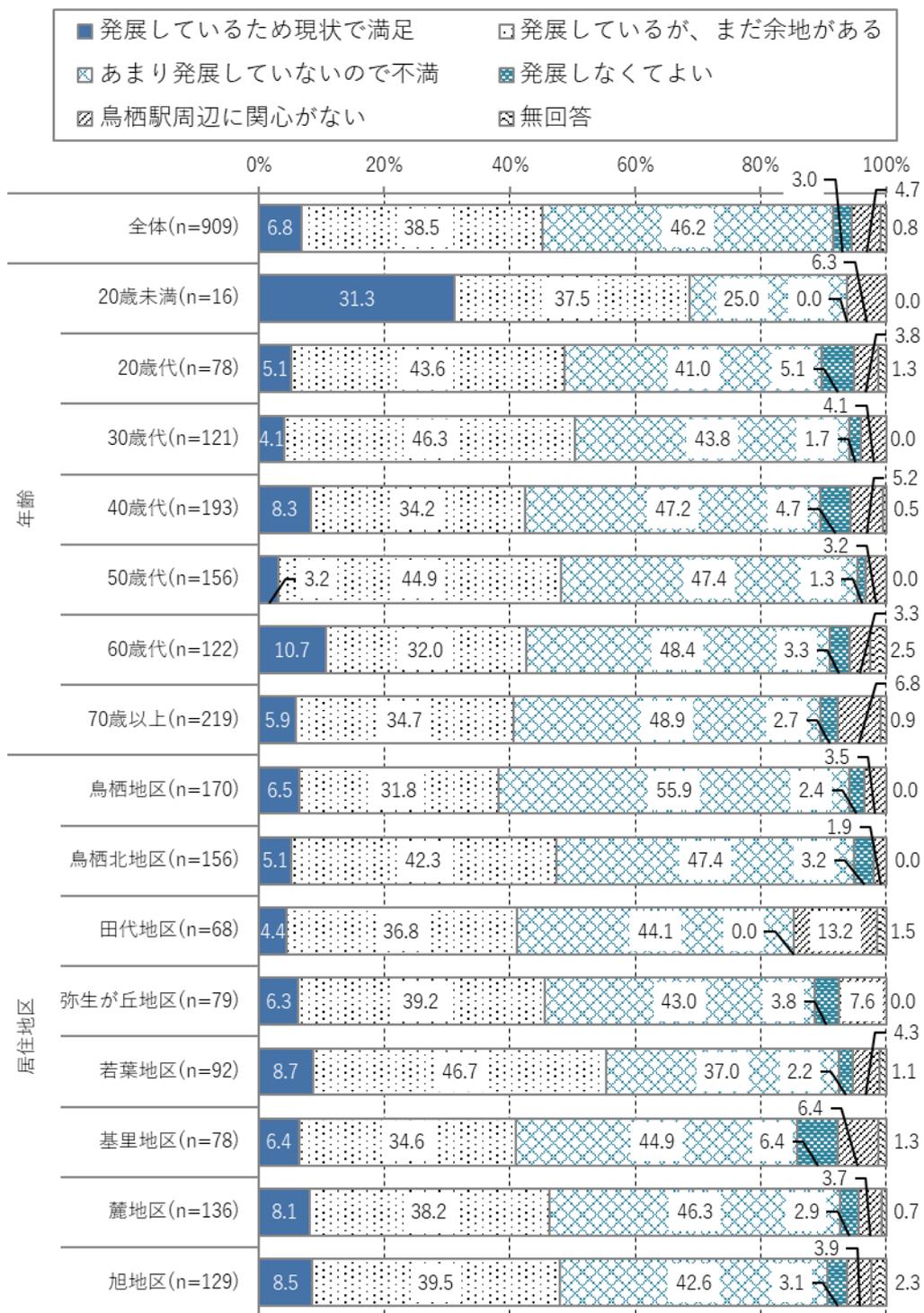
- 土地利用計画に関して、お聞きします。鳥栖市では、自然環境と調和した計画的な土地利用に取り組んでいます。お住いの地区には空き家が多いと思いますかとたずねたところ、「わからない」と回答した人の割合が最も高く 40.3%となっていました。次いで、「少ない」(29.3%)、「以前に比べ増えた」(17.9%)が続いています。
- 年齢階層が高くなるに従って「わからない」と回答する人の割合が減少しており、空き家に関する問題意識が年齢の高まりに従って増大する様が見取れます。
- 居住地区別にみると大きな地域性がみられます。「多い」または「以前に比べ増えた」との回答割合が最も高いのは基里地区であり、43.6%となっています。一方、弥生が丘地区は新興住宅地であることもあり、「少ない」との回答が約7割(69.6%)となっています。

質問 4 土地利用計画に関して、お聞きします。鳥栖市では、自然環境と調和した計画的な土地利用に取り組んでいます。お住いの地区には未利用地が多いと思いますか？



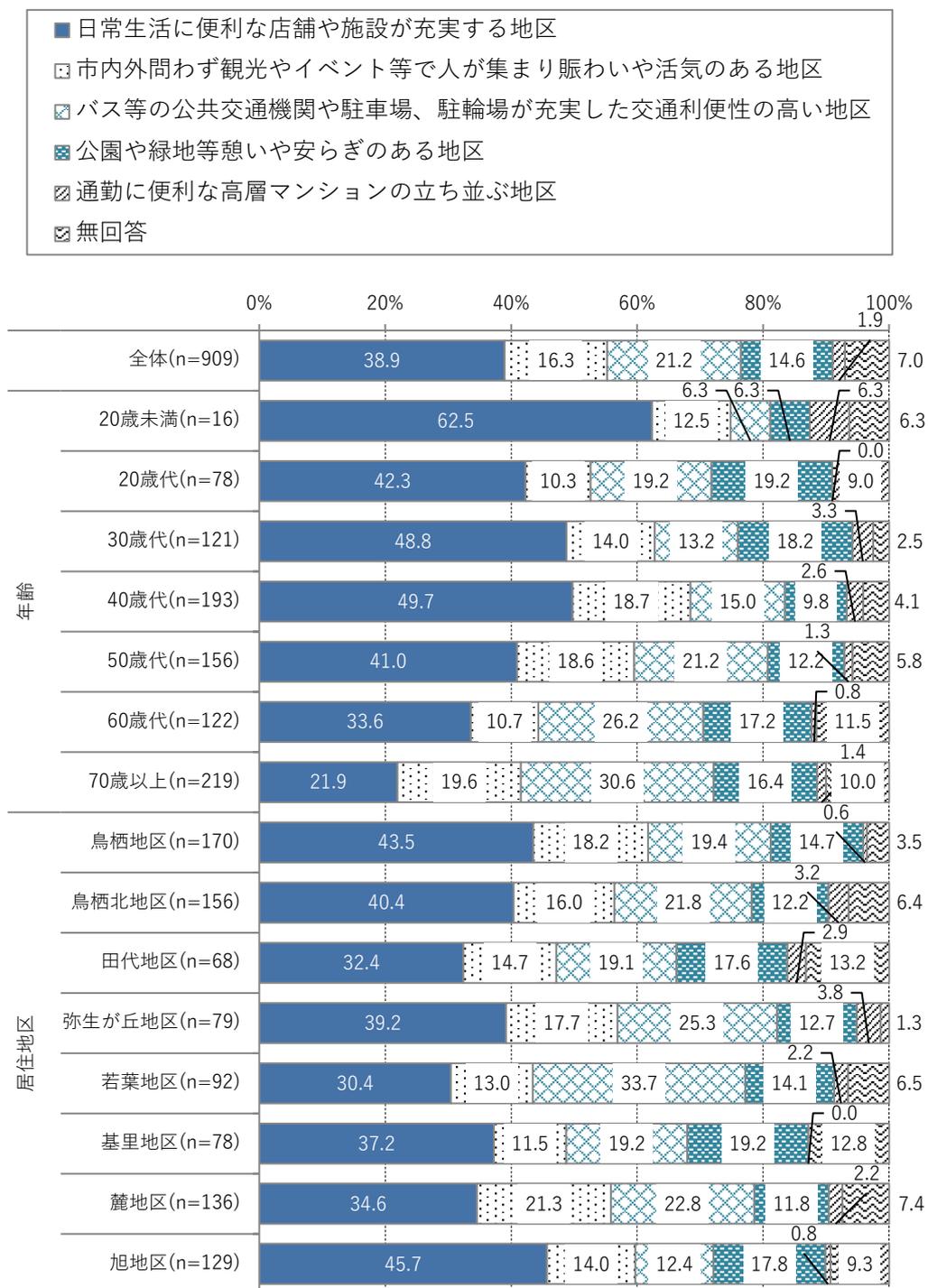
- 土地利用計画に関して、お聞きします。鳥栖市では、自然環境と調和した計画的な土地利用に取り組んでいます。お住いの地区には未利用地が多いと思いますかとたずねたところ、「わからない」と回答した人の割合が最も高く 38.7%となっていました。次いで、「少ない」(30.7%)、「以前より少ない」(14.0%)が続いています。
- 未利用地が「多い」と回答した人が少ない地区は若葉地区と弥生が丘地区となりますが、特に弥生が丘地区は未利用地が「少ない」と回答した人の割合が約6割(59.5%)となっており、他地区と比べて土地利用が進んでいると考えられていることが分かります。

質問 5 まちづくりに関して、お聞きします。鳥栖市では、まちづくりの拠点整備に取り組んでいます。鳥栖駅周辺の活性化について、どのようにお考えですか？



●まちづくりに関して、お聞きします。鳥栖市では、まちづくりの拠点整備に取り組んでいます。鳥栖駅周辺の活性化について、どのようにお考えですかとたずねたところ、「あまり発展していないので不満」と回答した人の割合が最も高く 46.2%となっていました。次いで、「発展しているが、まだ余地がある」(38.5%)、「発展しているため現状で満足」(6.8%)が続いています。

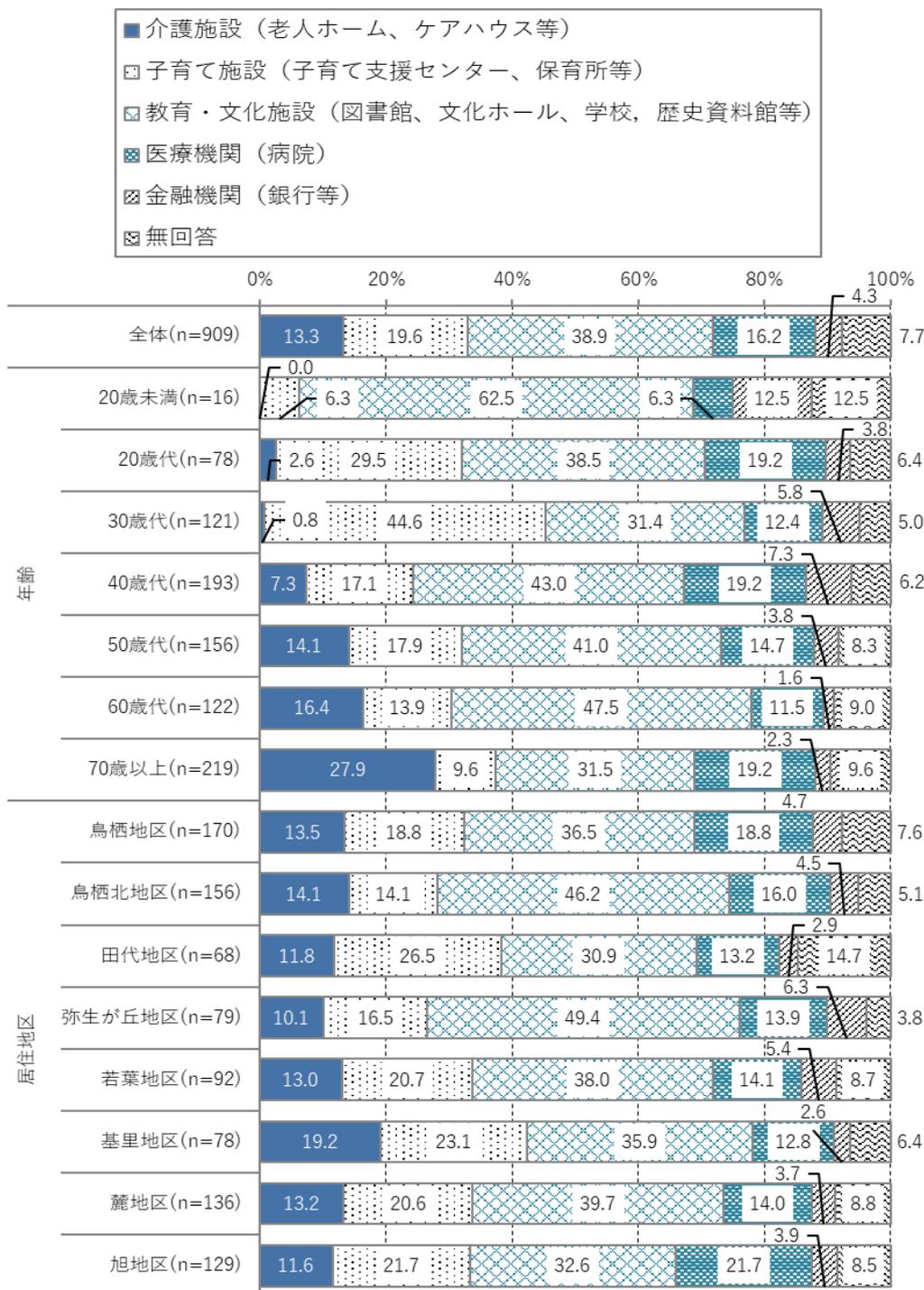
質問 6 まちづくりに関して、お聞きします。鳥栖駅周辺の将来像として、どのようなことを期待しますか。



●まちづくりに関して、お聞きします。鳥栖駅周辺の将来像として、どのようなことを期待しますかとたずねたところ、「日常生活に便利な店舗や施設が充実する地区」と回答した人の割合が最も高く38.9%となっていました。次いで、「バス等の公共交通機関や駐車場、駐輪場が充実した交通利便性の高い地区」(21.2%)、「市内外問わず観光やイベント等で人が集まり賑わいや活気のある地区」(16.3%)が続いています。

●比較的若い人は店舗や施設、年齢が上がるにつれ交通の利便性を重視していることが分かります。

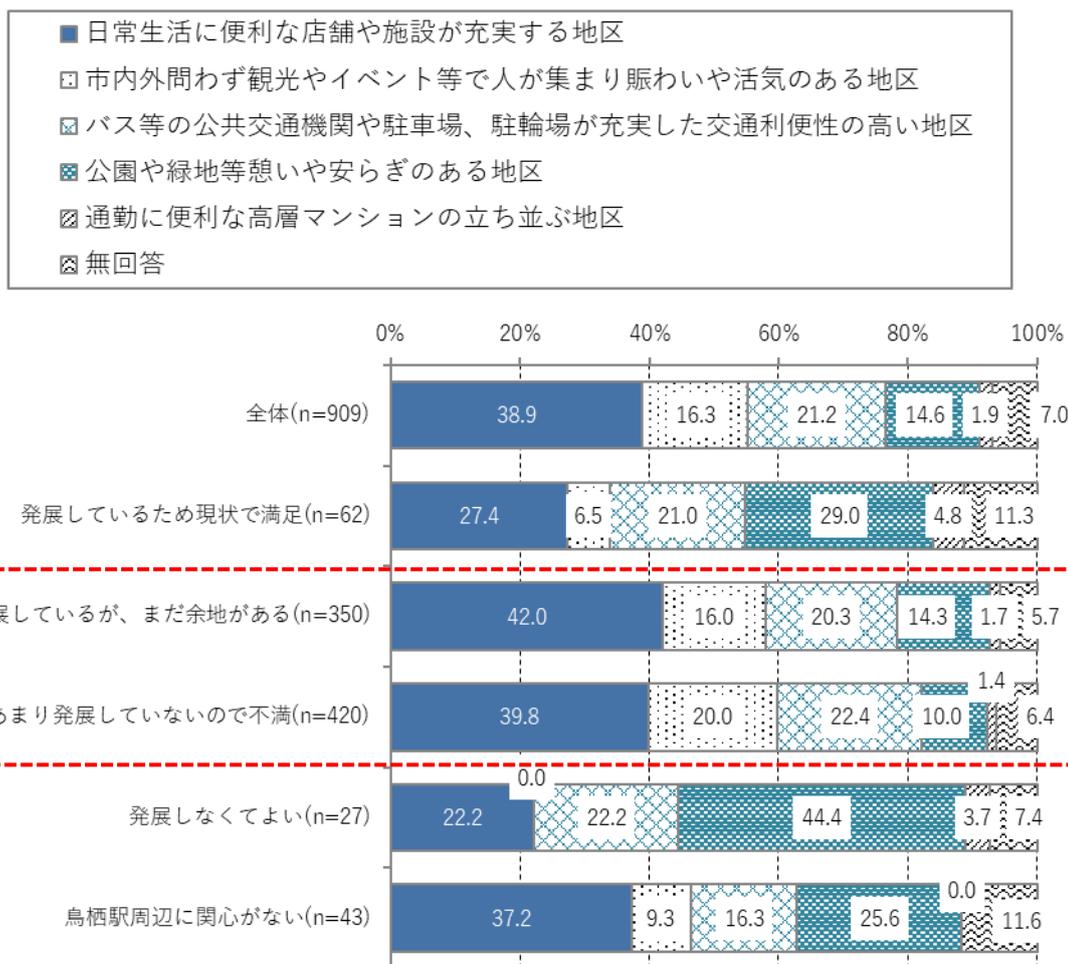
質問 7 まちづくりに関して、お聞きします。鳥栖駅周辺に商業施設以外ではどのような施設や機能を充実させたいですか。



●まちづくりに関して、お聞きします。鳥栖駅周辺に商業施設以外ではどのような施設や機能を充実させたいですかとたずねたところ、「教育・文化施設 (図書館、文化ホール、学校、歴史資料館等)」と回答した人の割合が最も高く 38.9%となっていました。次いで、「子育て施設 (子育て支援センター、保育所等)」(19.6%)、「医療機関 (病院)」(16.2%)が続いています。

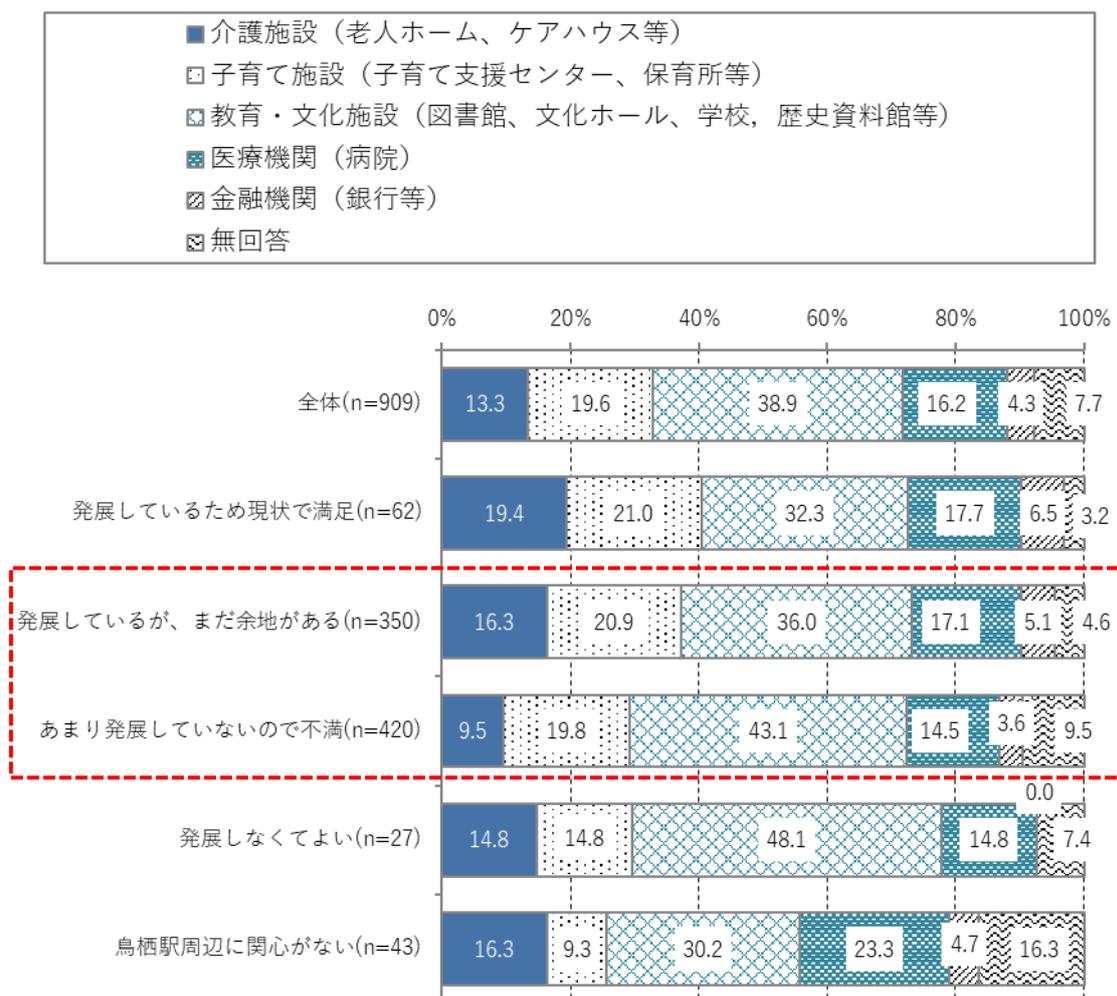
●比較的若い世代は子育て、教育・文化施設、年齢が上がるにつれ介護施設を重視しています。30歳代は子育てが最も多く 44.6%を占めます。

[質問5、質問6クロス]



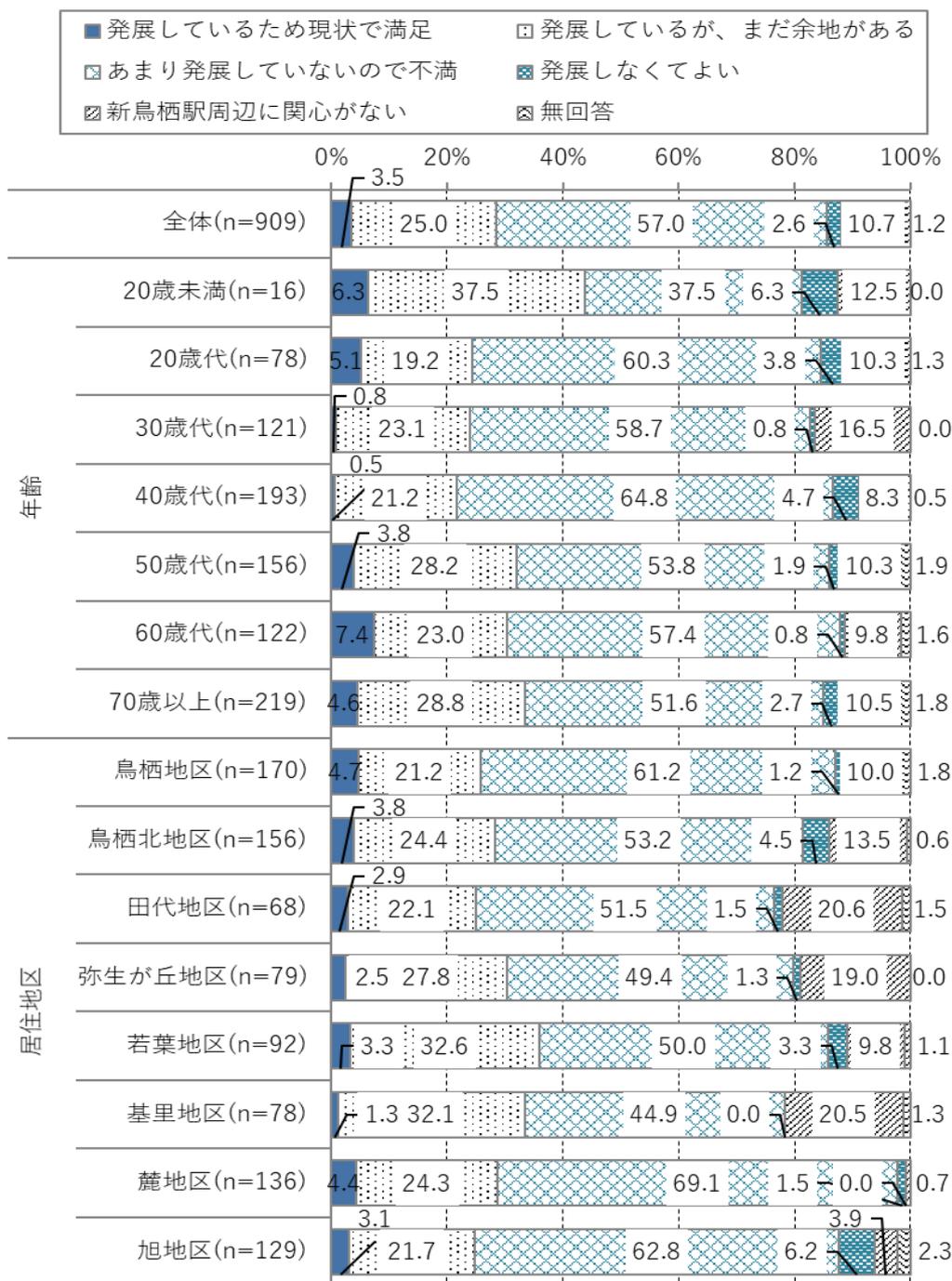
- 質問5で、鳥栖駅周辺の活性化について、「発展しているが、まだ余地がある」、「あまり発展していないので不満」と答えた市民は全体の84.7%であり、鳥栖駅周辺の将来像としてどのようなことを期待するのを見ても、「日常生活に便利な店舗や施設が充実する地区」と答えている割合が40.8%と最も高い結果となりました。
- 質問5で、鳥栖駅周辺の活性化について「発展しているため現状で満足」、「発展しなくてよい」と答えた市民は全体の9.8%であり、将来像については、「公園や緑地等憩いや安らぎの地区」と答えている割合が33.3%と最も高い結果となりました。

[質問5、質問7クロス]



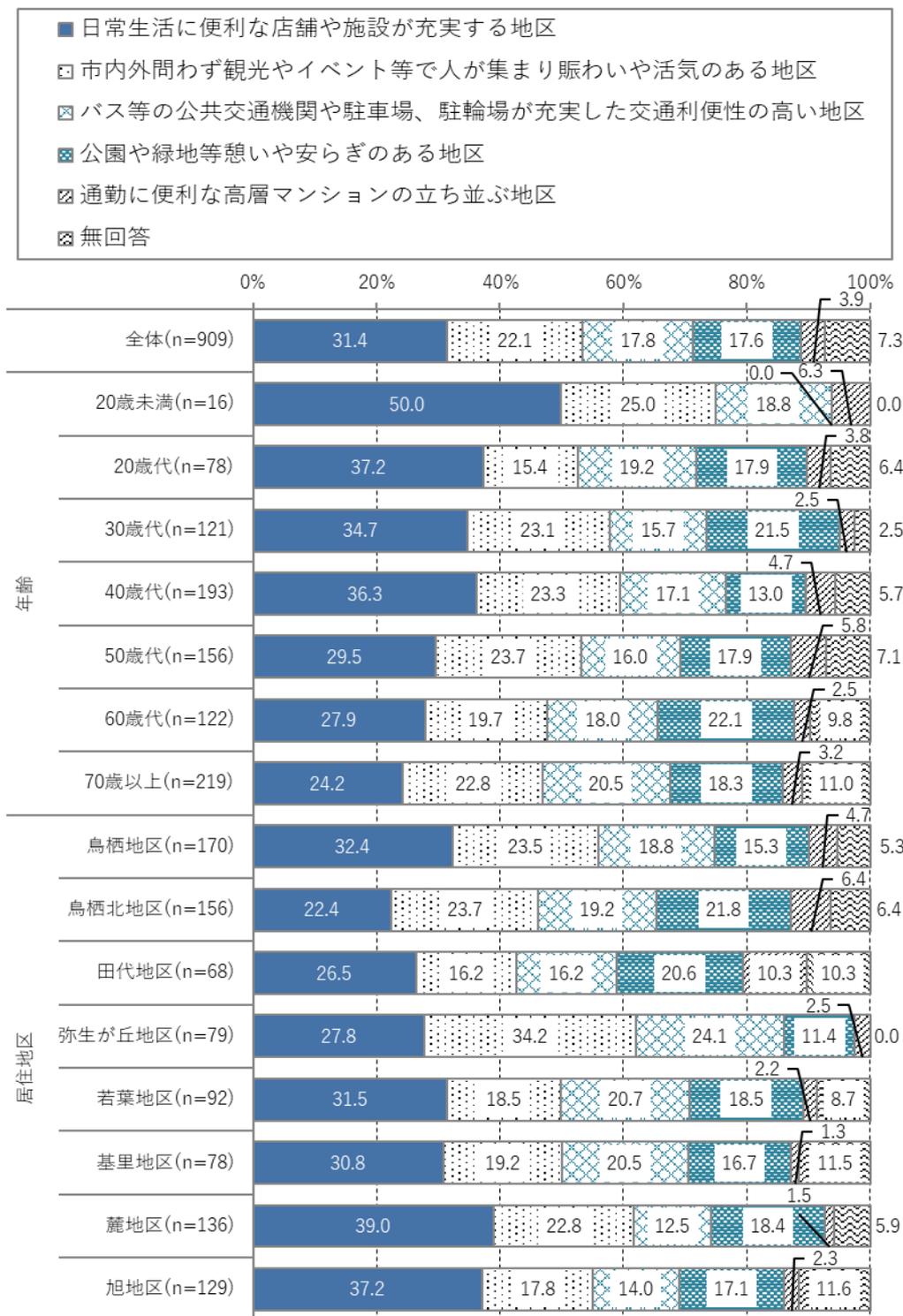
●質問5で、鳥栖駅周辺の活性化について、「発展しているが、まだ余地がある」、「あまり発展していないので不満」と回答した人が、鳥栖駅周辺に商業施設以外でのような施設や機能充実させたいかを見ると、「教育・文化施設（図書館、文化ホール、学校、歴史資料館等）」と回答した人の割合が最も多くなっています。

質問 8 まちづくりに関して、お聞きします。新鳥栖駅周辺の活性化について、どのようにお考えですか？



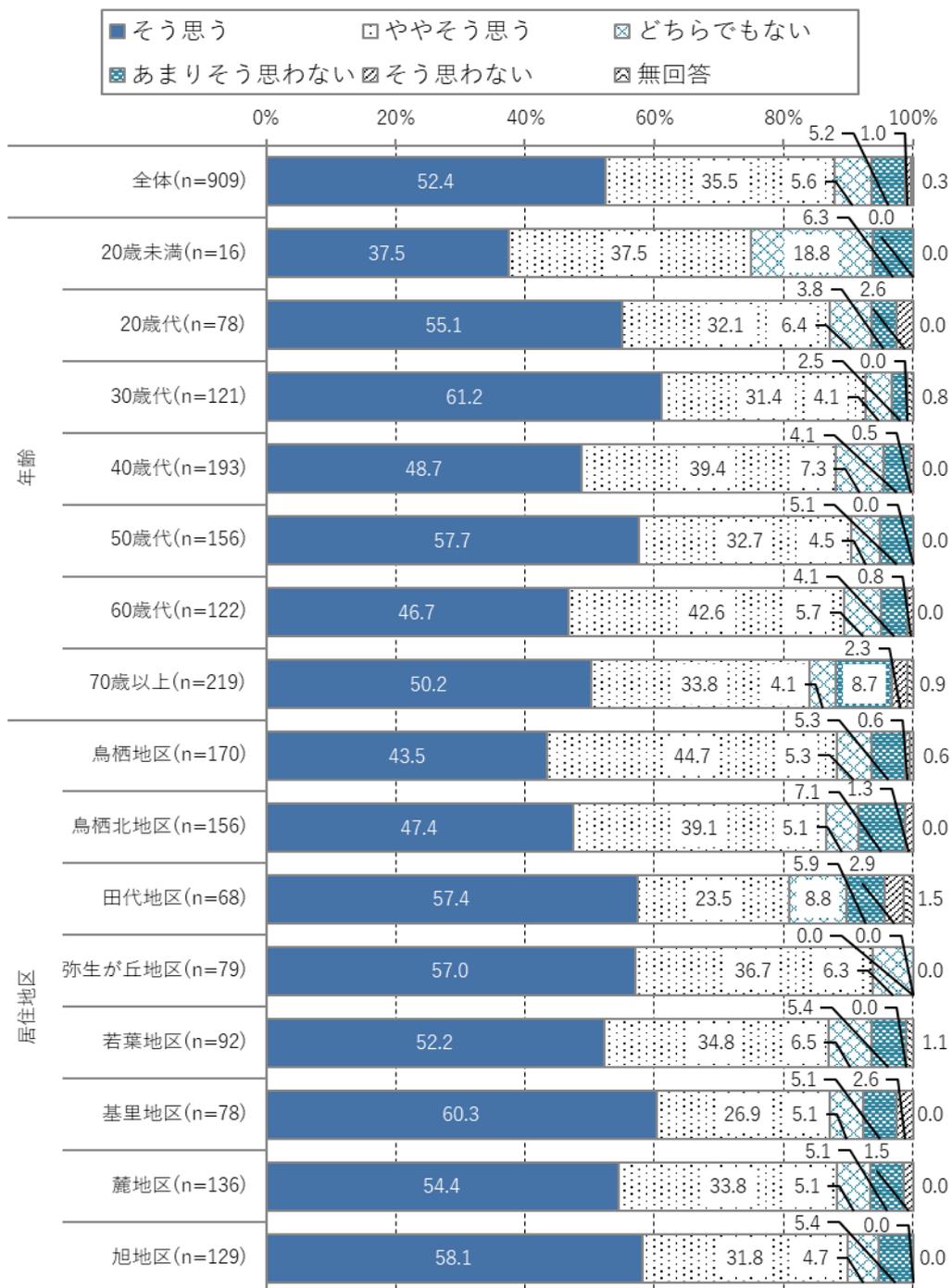
●まちづくりに関して、お聞きします。新鳥栖駅周辺の活性化について、どのようにお考えですかとたずねたところ、「あまり発展していないので不満」と回答した人の割合が最も高く 57.0%となりました。次いで、「発展しているが、まだ余地がある」(25.0%)、「新鳥栖駅周辺に関心がない」(10.7%)が続いています。

質問 9 まちづくりに関して、お聞きします。新鳥栖駅周辺の将来像として、どのようなことを期待しますか。



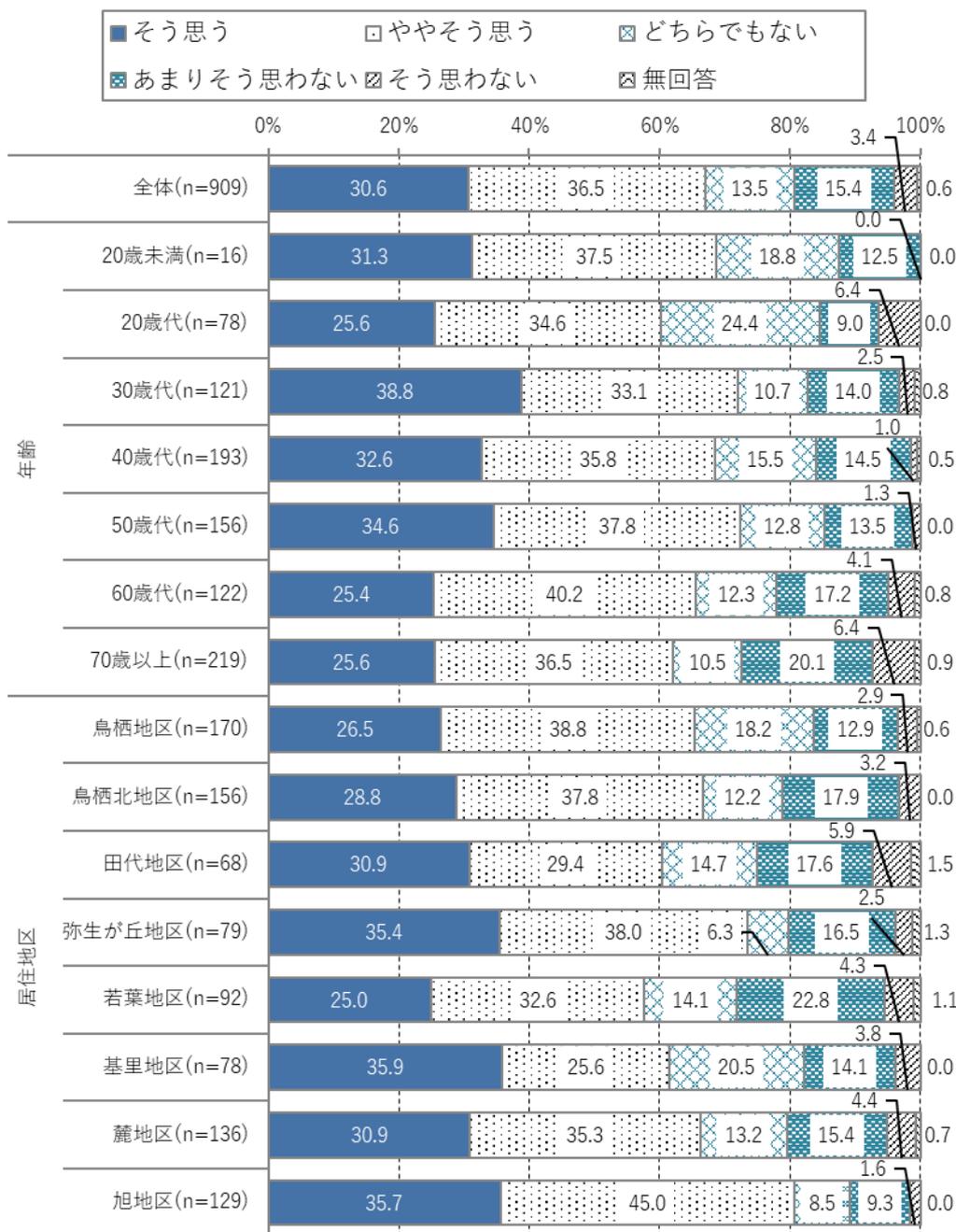
●まちづくりに関して、お聞きします。新鳥栖駅周辺の将来像として、どのようなことを期待しますかとたずねたところ、「日常生活に便利な店舗や施設が充実する地区」と回答した人の割合が最も高く31.4%となっていました。次いで、「市内外問わず観光やイベント等で人が集まり賑わいや活気のある地区」(22.1%)、「バス等の公共交通機関や駐車場、駐輪場が充実した交通利便性の高い地区」(17.8%)が続いています。

質問 10 主要な道路に関して、お聞きします。鳥栖市は、市内の「主要な道路」が快適に通行できるよう取り組んでいます。鳥栖市の「主要な道路」には、渋滞するイメージがありますか。



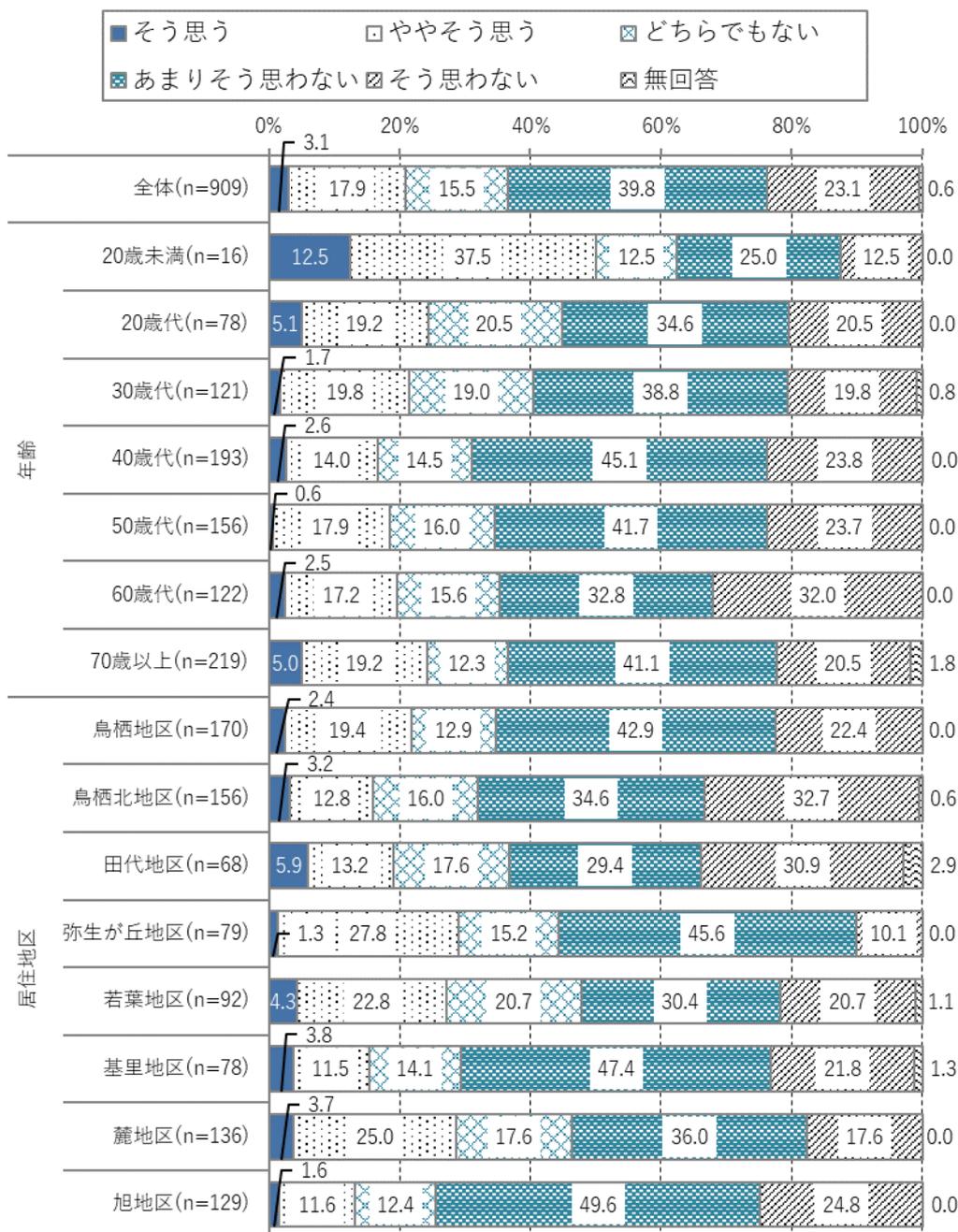
- 主要な道路に関して、お聞きします。鳥栖市は、市内の「主要な道路」が快適に通行できるよう取り組んでいます。鳥栖市の「主要な道路」には、渋滞するイメージがありますかとたずねたところ、「そう思う」と回答した人の割合が最も高く52.4%となっていました。次いで、「ややそう思う」(35.5%)、「どちらでもない」(5.6%)が続いています。
- 渋滞するイメージが比較的低いのは鳥栖地区、鳥栖北地区となっています。一方、基里地区、旭地区、田代地区、弥生が丘地区などは渋滞するイメージが比較的高くなっています。

質問 11 生活道路に関して、お聞きします。鳥栖市は、市内の「生活道路」（前頁の質問の「主要な道路」以外の道路）が快適に通行できるよう取り組んでいます。鳥栖市の「生活道路」には、渋滞するイメージがありますか。



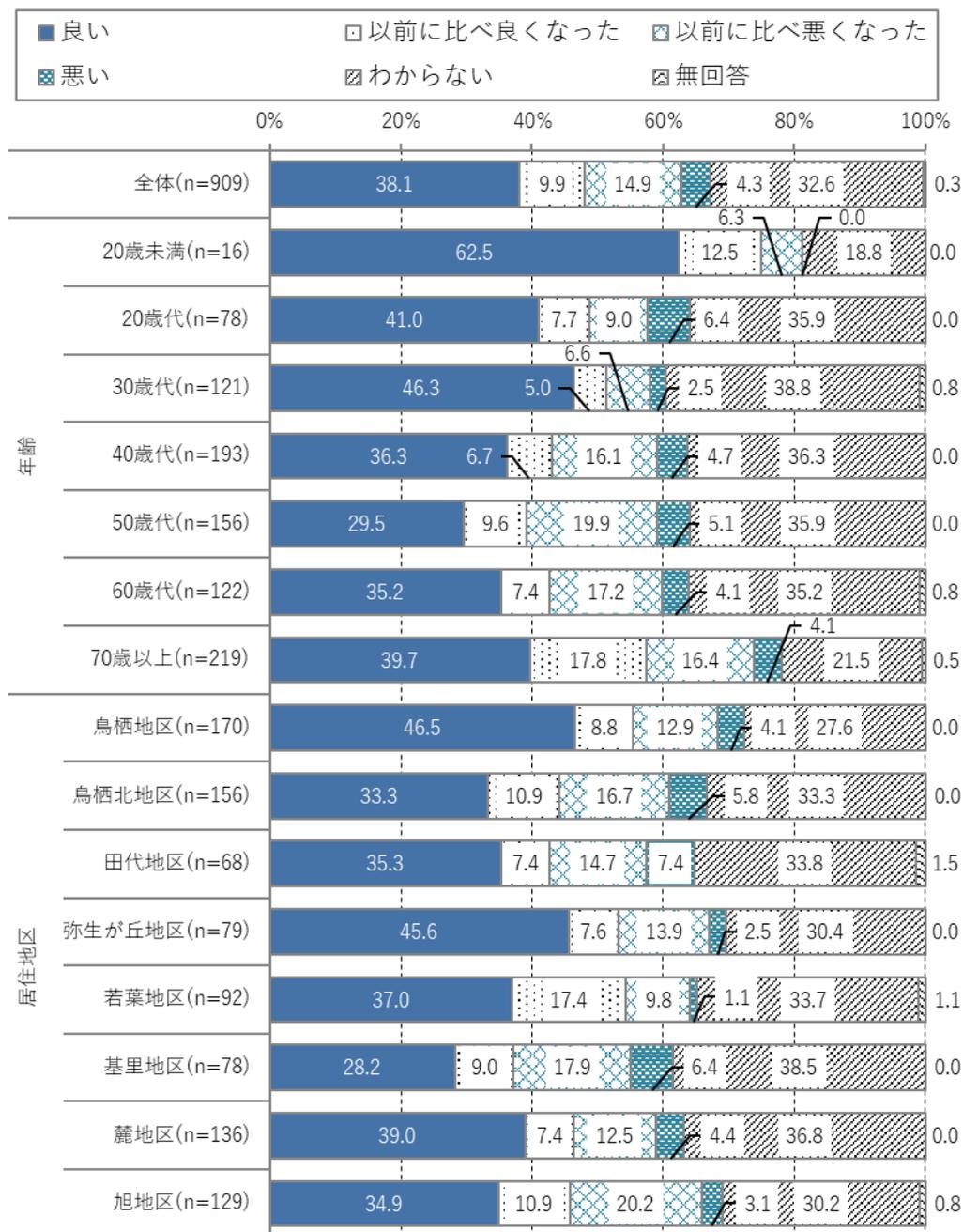
- 生活道路に関して、お聞きします。鳥栖市は、市内の「生活道路」（前頁の質問の「主要な道路」以外の道路）が快適に通行できるよう取り組んでいます。鳥栖市の「生活道路」には、渋滞するイメージがありますかとたずねたところ、「ややそう思う」と回答した人の割合が最も高く 36.5%となりました。次いで、「そう思う」（30.6%）、「あまりそう思わない」（15.4%）が続いています。
- 主要な道路に比べると、渋滞するイメージがあると回答した人の割合が比較的低いことが分かります。特に、若葉地区、鳥栖地区、鳥栖北地区は「そう思う」との回答が30.0%を下回っています。

質問 12 生活道路に関して、お聞きします。鳥栖市は、安心して通行できる、歩行者にやさしい「生活道路」の整備に取り組んでいます。鳥栖市の「生活道路」は、歩行者や自転車にとって安全で快適だと思いますか？



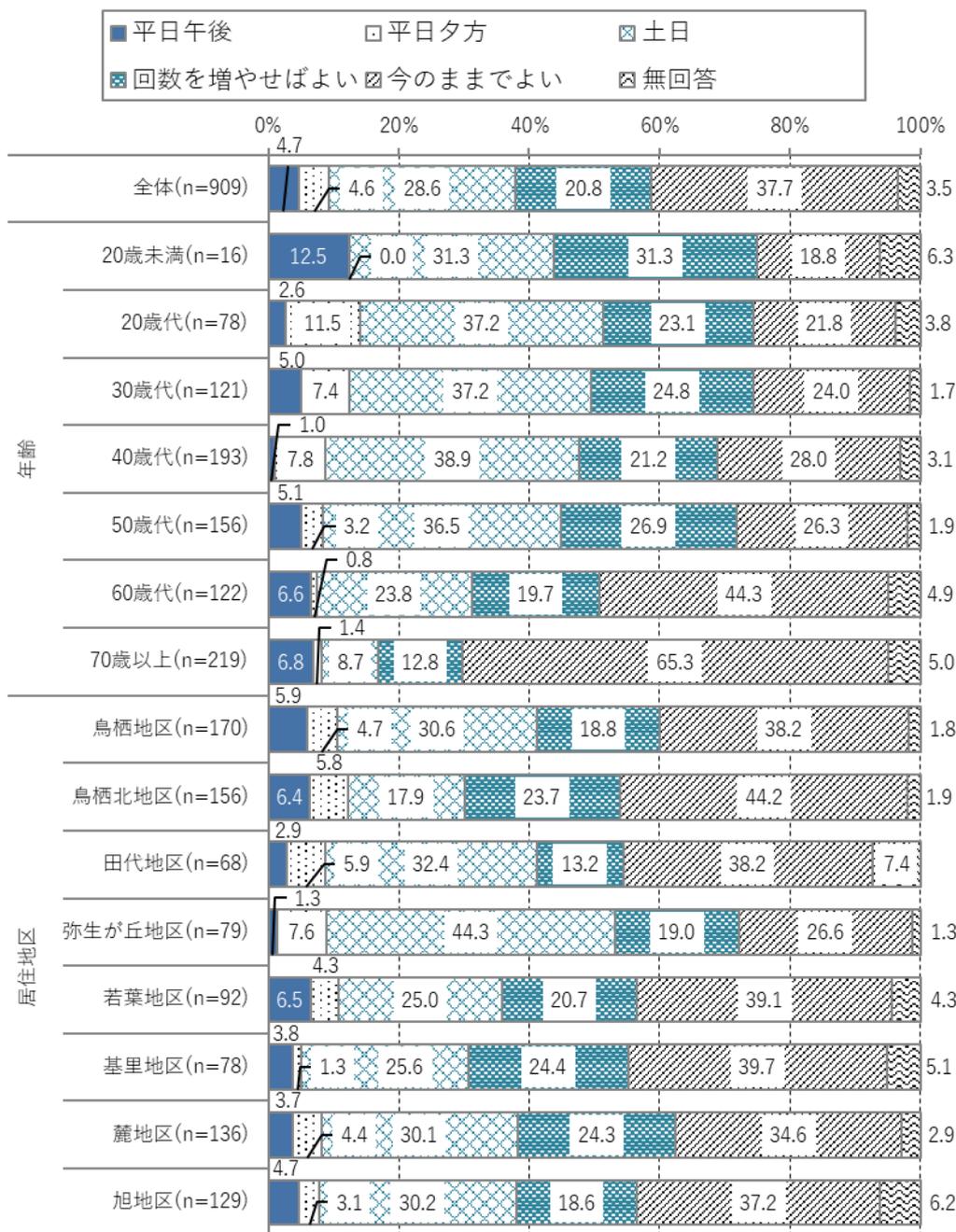
- 生活道路に関して、お聞きします。鳥栖市は、安心して通行できる、歩行者にやさしい「生活道路」の整備に取り組んでいます。鳥栖市の「生活道路」は、歩行者や自転車にとって安全で快適だと思いますかとたずねたところ、「あまりそう思わない」と回答した人の割合が最も高く 39.8%となりました。次いで、「そう思わない」(23.1%)、「ややそう思う」(17.9%)が続いています。
- 若葉地区と麓地区では「あまりそう思わない」、「そう思わない」と回答した人の割合が比較的低いことがわかります。

質問 13 防犯に関して、お聞きします。鳥栖市では、安全で安心して暮らせるまちづくりに取り組んでいます。お住いの地区の治安はよいと思いますか？



●防犯に関して、お聞きします。鳥栖市では、安全で安心して暮らせるまちづくりに取り組んでいます。お住いの地区の治安はよいと思いますかとたずねたところ、「良い」と回答した人の割合が最も高く38.1%となっていました。次いで、「わからない」(32.6%)、「以前に比べ悪くなった」(14.9%)が続いています。

質問 14 健康づくりに関して、お聞きします。鳥栖市では、健康で生き生きと暮らせるまちづくりに取り組んでいます。市が市民向けに実施している健康診査、がん検診の実施体制について、市民の皆様により多く受診いただくために、どんな日程・時間帯の設定が良いと思いますか？



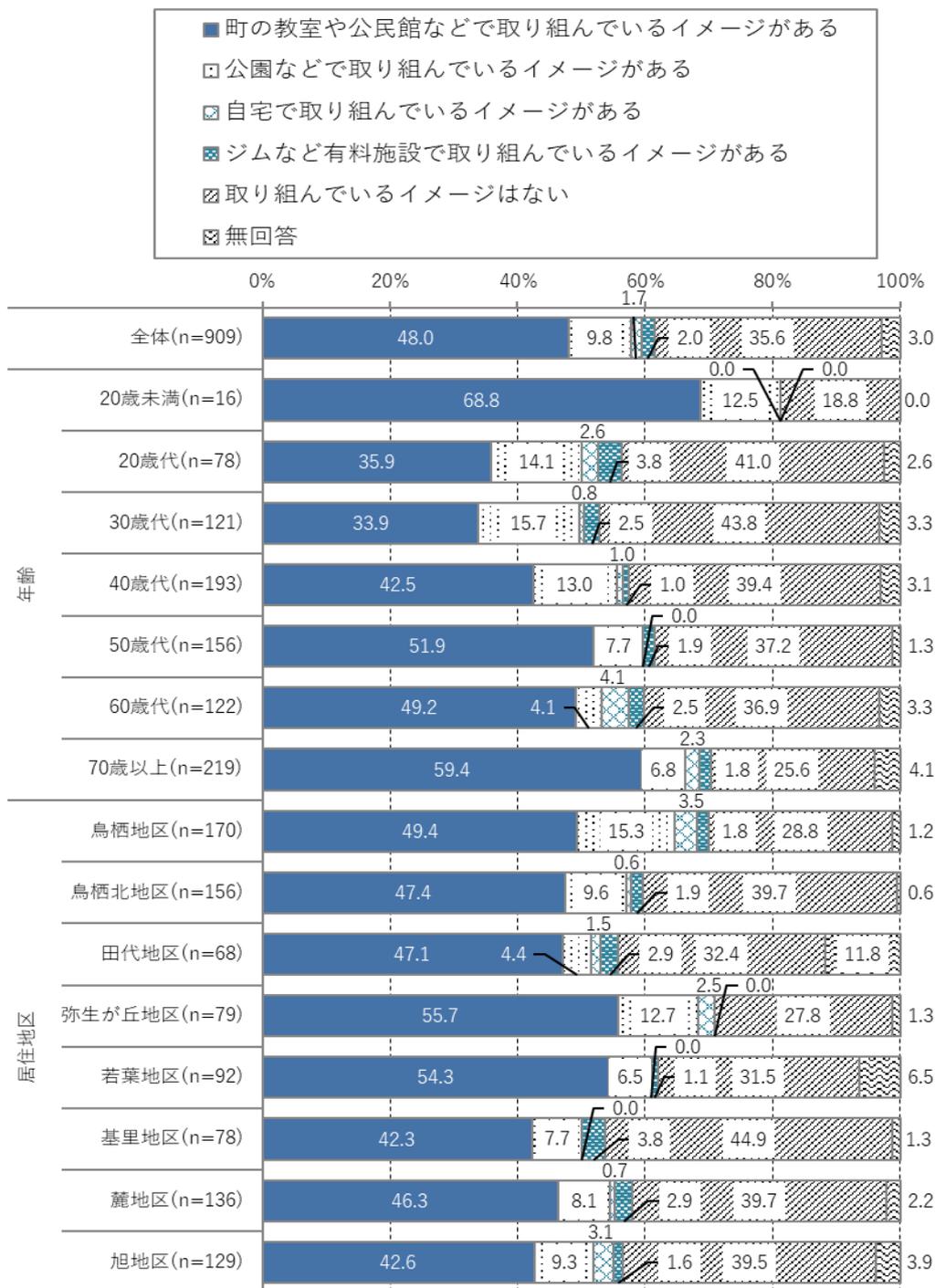
●健康づくりに関して、お聞きします。鳥栖市では、健康で生き生きと暮らせるまちづくりに取り組んでいます。市が市民向けに実施している健康診査、がん検診の実施体制について、市民の皆様により多く受診いただくために、どんな日程・時間帯の設定が良いと思いますかとたずねたところ、「今のままでよい」と回答した人の割合が最も高く 37.7%となっていました。次いで、「土日」(28.6%)、「回数を増やせばよい」(20.8%)が続いています。

質問 15 子育てに関して、お聞きします。鳥栖市では、子育て支援の充実に取り組んでいます。どんな子育て支援を充実させるべきだと思いますか。

	全体	20歳代未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上
育児不安の軽減 (育児相談、病児保育、医療費助成、 障害児支援など)	95	1	14	16	20	19	14	11
子どもを預けて働ける環境の整備 (保育所、学童保育の充実)	63	1	7	10	15	13	7	10
子どもの遊び場・公園の整備	57	1	8	13	10	8	10	7
子育て世帯への経済的支援 (手当、給付金など)	29	2	9	6	5	2	2	3
大人による見守り (通学路の交通安全など)	24	0	1	1	3	5	2	12
現状のままでよい	4	0	0	0	1	0	0	3

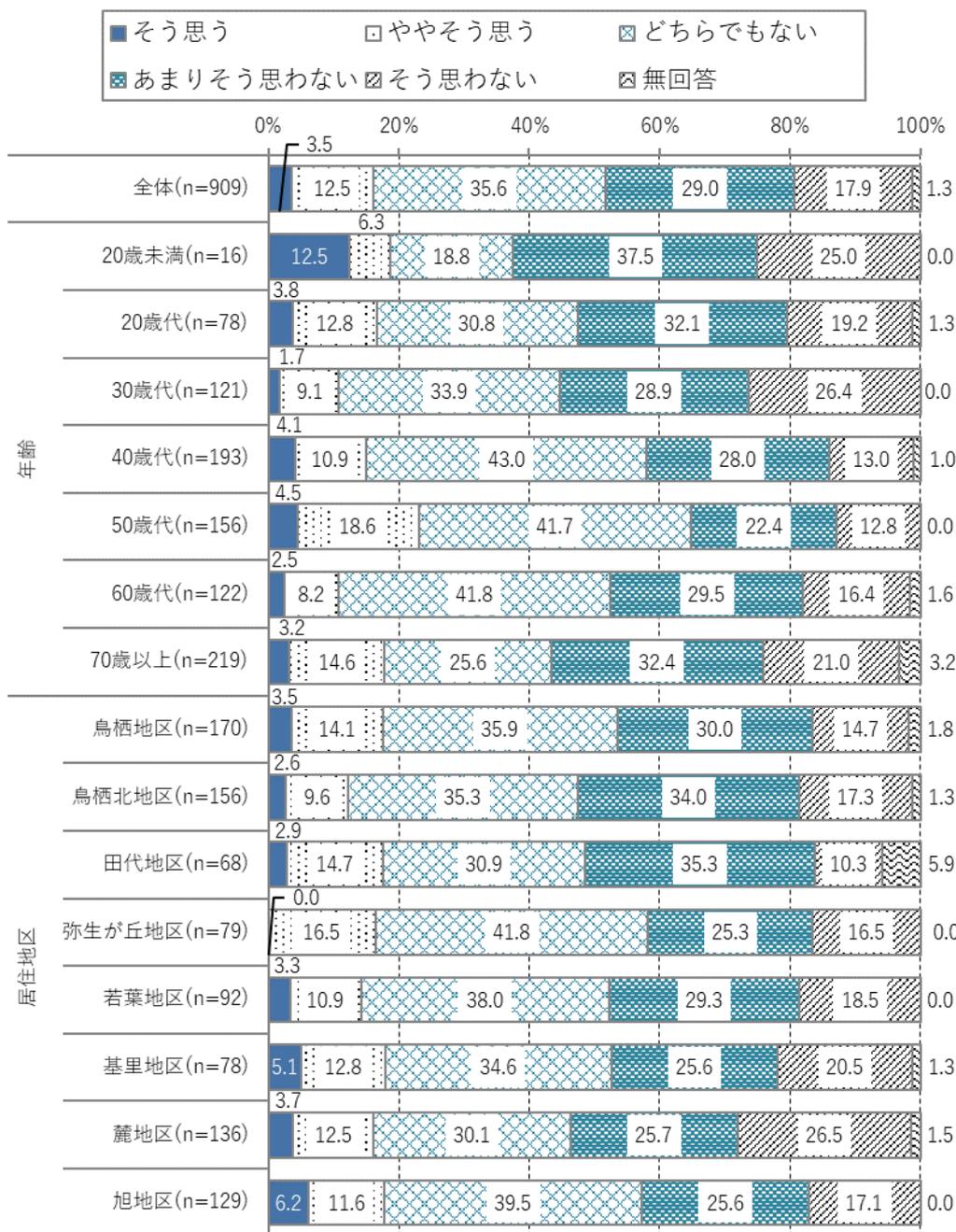
- 子育てに関して、お聞きします。鳥栖市では、子育て支援の充実に取り組んでいます。どんな子育て支援を充実させるべきだと思いますかと自由回答方式でたずねたところ、「育児不安の軽減」に関する回答が最も多く 95 件となりました。次いで、「子どもを預けて働ける環境の整備」(63 件)、「子どもの遊び場・公園の整備」(57 件)が続いています。
- 年齢別にみると 20 歳代～60 歳代で「育児不安の軽減」に関する回答が多くなっています。「育児不安の軽減」以外の回答では、20 歳代は「子育て世帯への経済的支援」、30 歳代は「子どもの遊び場・公園の整備」、40 歳代、50 歳代では「子どもを預けて働ける環境の整備」に関する回答が多く、年代により充実させるべきだと思う内容は変化しています。
- 「育児不安の軽減」の内訳としては、育児の悩み相談の充実、子育て支援施設の充実、病児保育施設の整備、障害児支援の充実、子どもの医療費助成の拡充に関連する意見が多く寄せられました。この他にも、産前産後のサポートの充実、夜間救急医療や小児科などの医療体制の充実、通級教室の拡充など、多様な意見がありました。子どもが病気の時や育児に悩みがある時などに、孤立せず誰かに頼ることができるサポート体制を求める声が大きいですことがわかります。

質問 16 高齢者福祉に関して、お聞きします。鳥栖市では、高齢者の自立と社会参加への支援に取り組んでいます。お住いの地区で、高齢者が活発に健康づくりに取り組んでいるイメージはありますか。



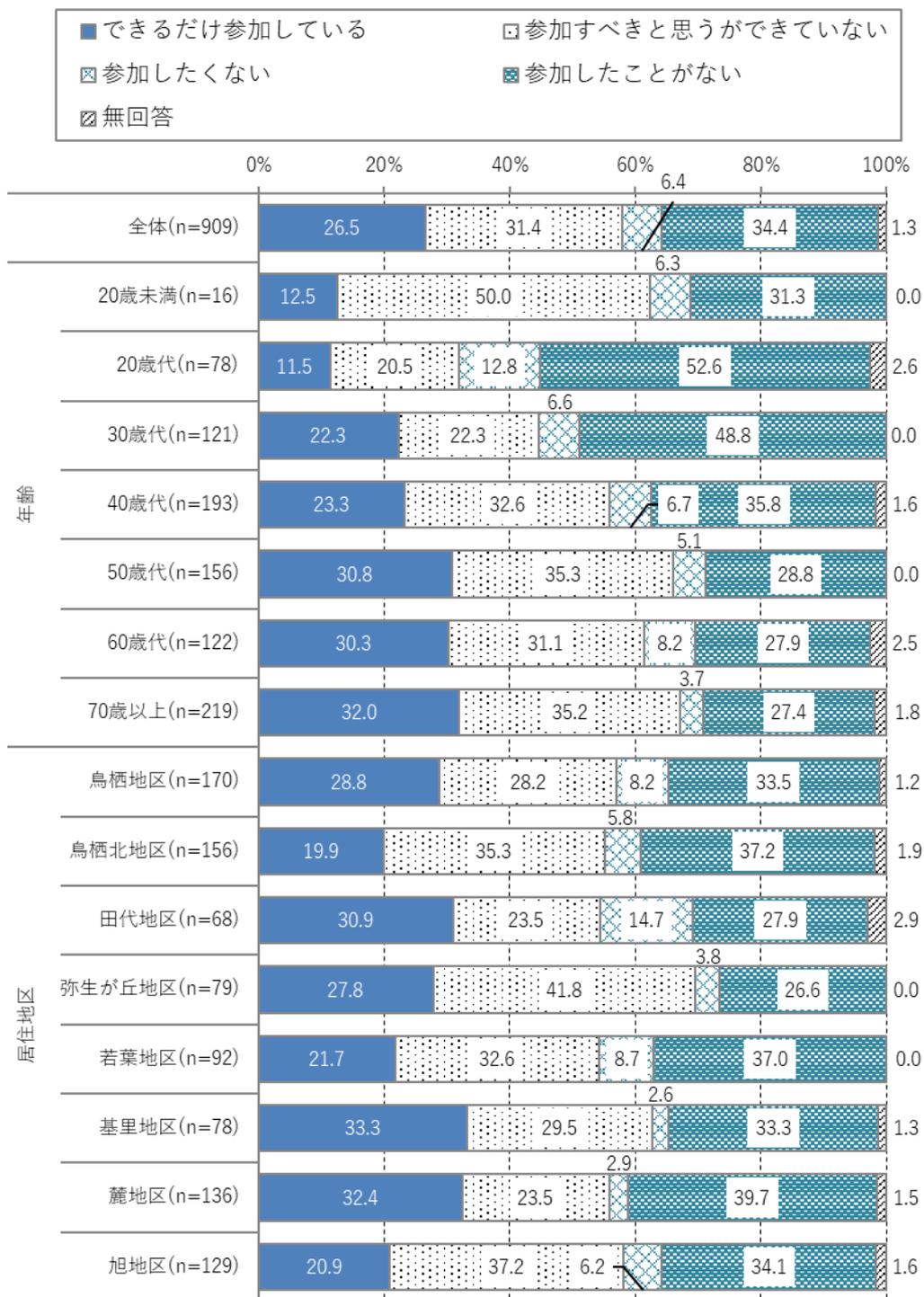
●高齢者福祉に関して、お聞きします。鳥栖市では、高齢者の自立と社会参加への支援に取り組んでいます。お住いの地区で、高齢者が活発に健康づくりに取り組んでいるイメージはありますかとたずねたところ、「町の教室や公民館などで取り組んでいるイメージがある」と回答した人の割合が最も高く48.0%となっていました。次いで、「取り組んでいるイメージはない」(35.6%)、「公園などで取り組んでいるイメージがある」(9.8%)が続いています。

質問 17 障害者福祉への支援に関して、お聞きします。鳥栖市では、障害者の自立と社会参加への支援に取り組んでいます。鳥栖での暮らしの中で、障害者に対する差別・偏見や疎外感を感じることがありますか。



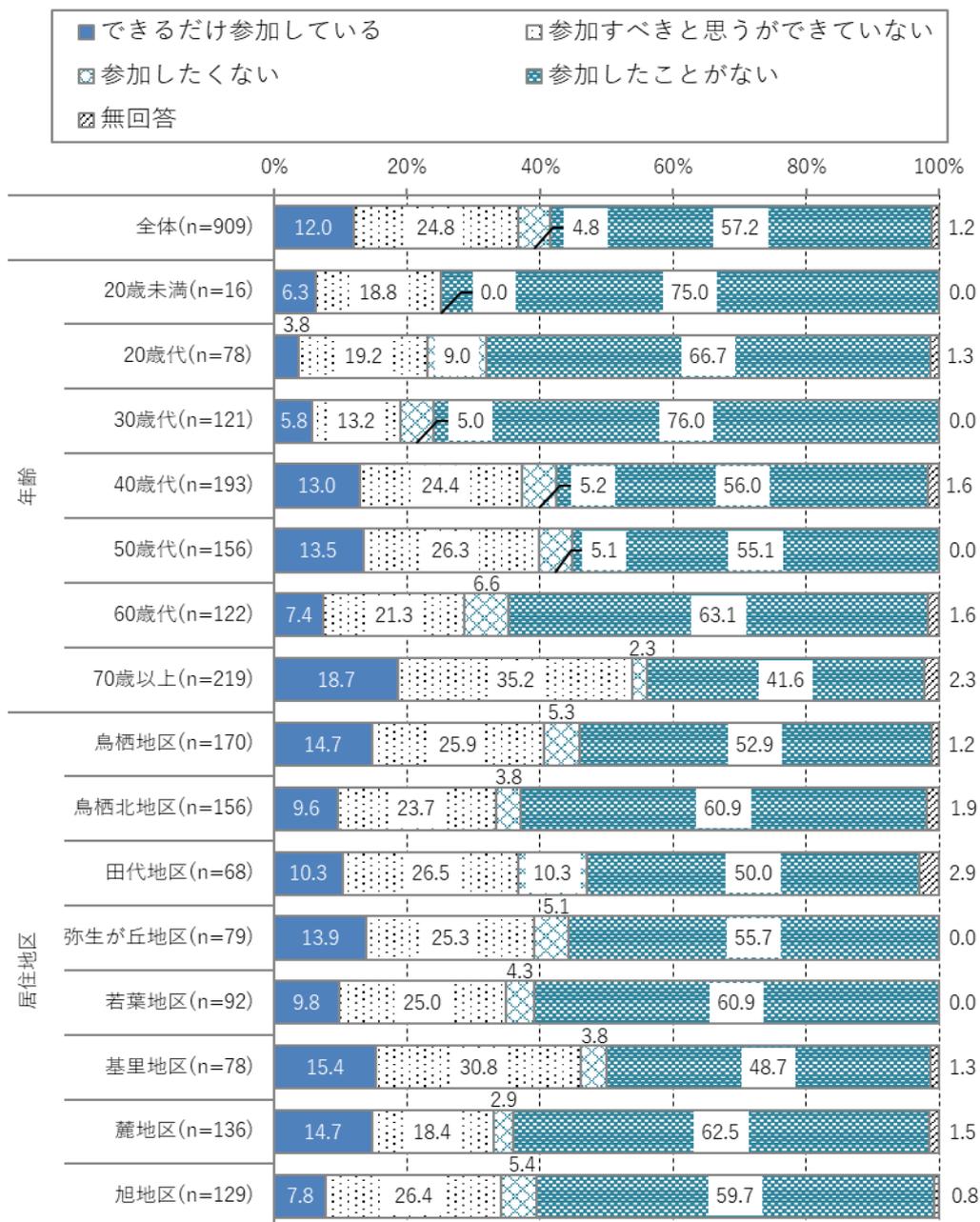
●障害者福祉への支援に関して、お聞きします。鳥栖市では、障害者の自立と社会参加への支援に取り組んでいます。鳥栖での暮らしの中で、障害者に対する差別・偏見や疎外感を感じることがありますかとたずねたところ、「どちらでもない」と回答した人の割合が最も高く 35.6%となっていました。次いで、「あまりそう思わない」(29.0%)、「そう思わない」(17.9%)が続いています。

質問 18 地域福祉に関して、お聞きします。鳥栖市では、地域福祉の充実に取り組んでいます。町内会活動やボランティア活動に参加していますか。



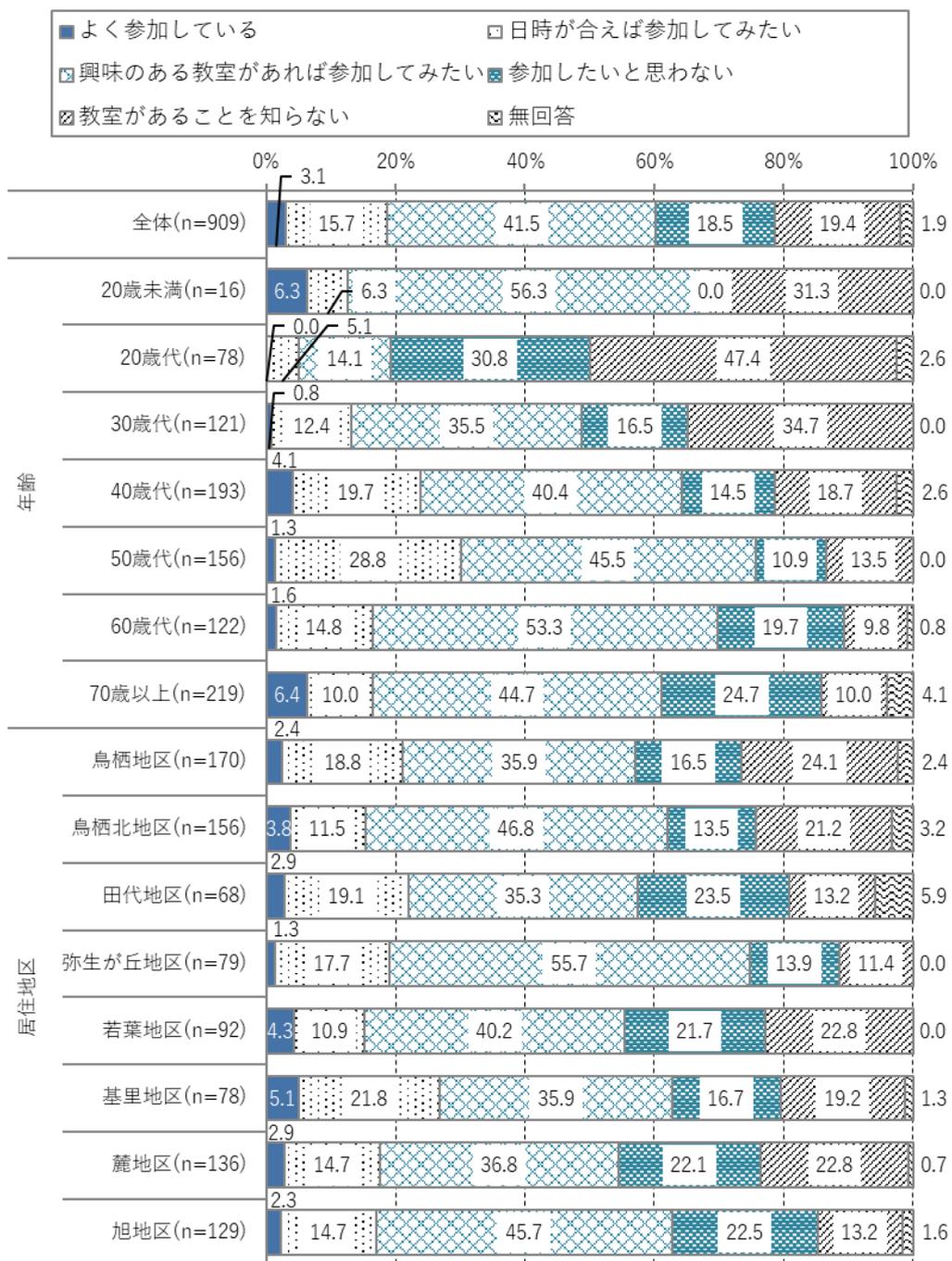
- 地域福祉に関して、お聞きします。鳥栖市では、地域福祉の充実に取り組んでいます。町内会活動やボランティア活動に参加していますかとたずねたところ、「参加したことがない」と回答した人の割合が最も高く 34.4%となっていました。次いで、「参加すべきと思うができていない」(31.4%)、「できるだけ参加している」(26.5%)が続いています。
- 「できるだけ参加している」と回答した人の割合が高い地区は基里地区、麓地区、田代地区となっており、多少の地域差がみられます。

質問 19 市民協働に関して、お聞きします。鳥栖市では、市民協働のまちづくりに取り組んでいます。お住いの地区のまちづくり推進協議会の活動に参加したことがありますか。



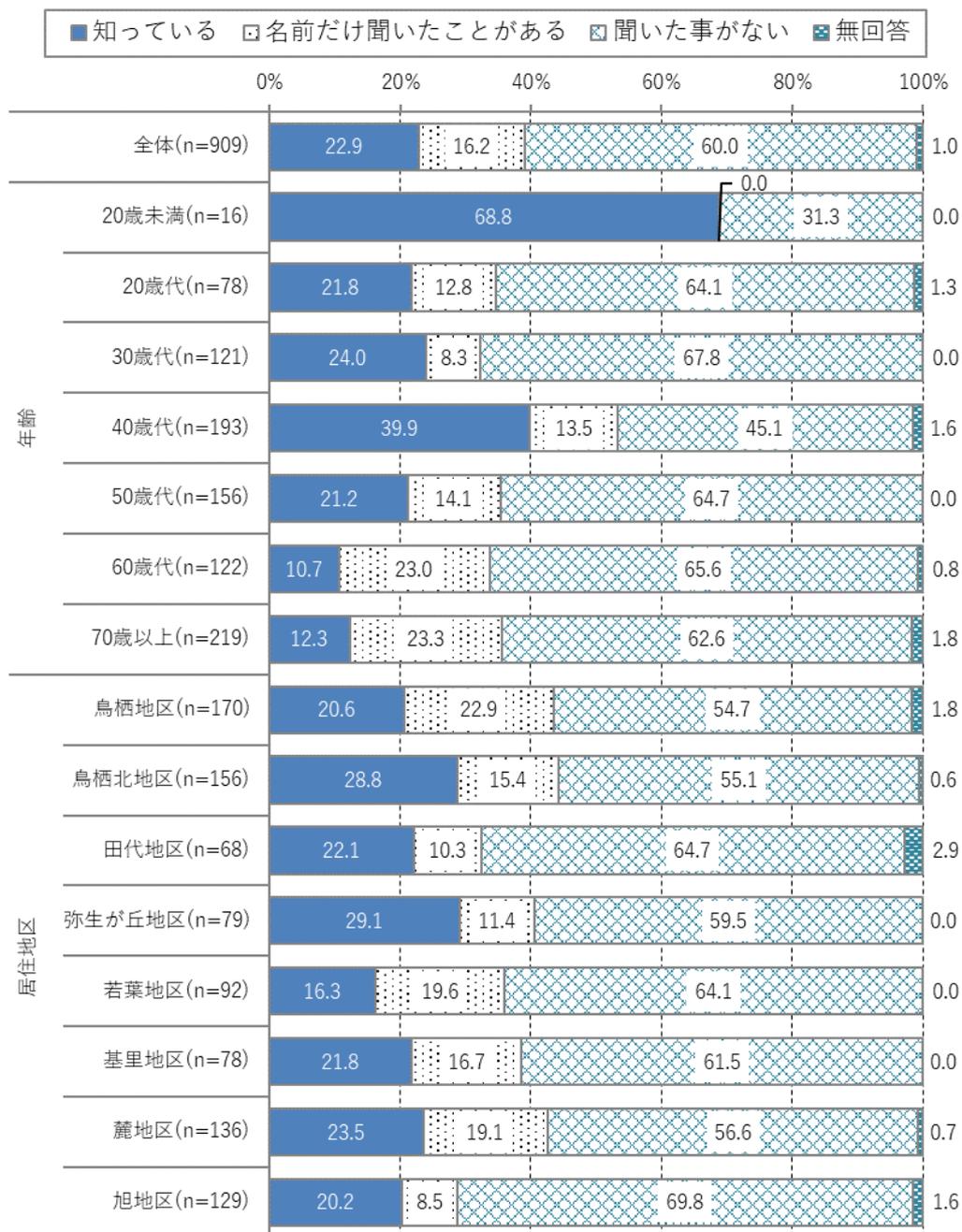
- 市民協働に関して、お聞きします。鳥栖市では、市民協働のまちづくりに取り組んでいます。お住いの地区のまちづくり推進協議会の活動に参加したことがありますかとたずねたところ、「参加したことがない」と回答した人の割合が最も高く 57.2%となっていました。次いで、「参加すべきと思うができていない」(24.8%)、「できるだけ参加している」(12.0%)が続いています。
- まちづくり推進活動の参加について、参加している又は参加すべきであると考えている層は、40歳代、50歳代、70歳代以上で4割を超えるのに対し、60歳代と30歳代以下が低い結果となりました。30歳代以下へアプローチできるかが今後の課題となります。

質問 20 生涯学習に関して、お聞きします。鳥栖市では、生涯学習の機会の充実に取り組んでいます。公民館やまちづくり推進センター等で行われている講座や教室に参加したことがありますか。また、参加してみたいと思いますか。



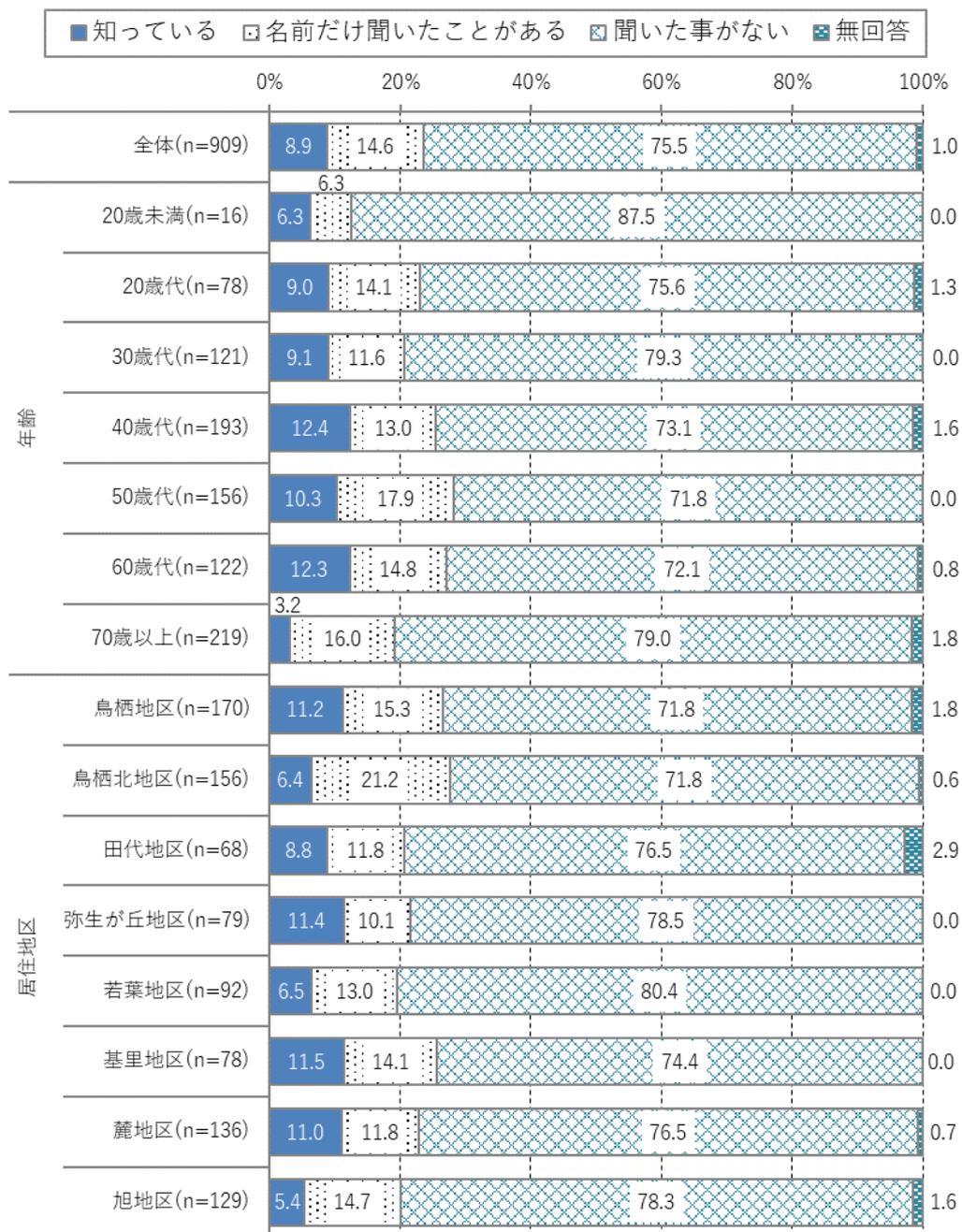
●生涯学習に関して、お聞きします。鳥栖市では、生涯学習の機会の充実に取り組んでいます。公民館やまちづくり推進センター等で行われている講座や教室に参加したことがありますか。また、参加してみたいと思いますかとたずねたところ、「興味のある教室があれば参加してみたい」と回答した人の割合が最も高く41.5%となっていました。次いで、「教室があることを知らない」(19.4%)、「参加したいと思わない」(18.5%)が続いています。

質問 21 教育に関して、お聞きします。鳥栖市は独自の教育として、教科「日本語」に取り組んでいます。教科「日本語」についてご存じですか。



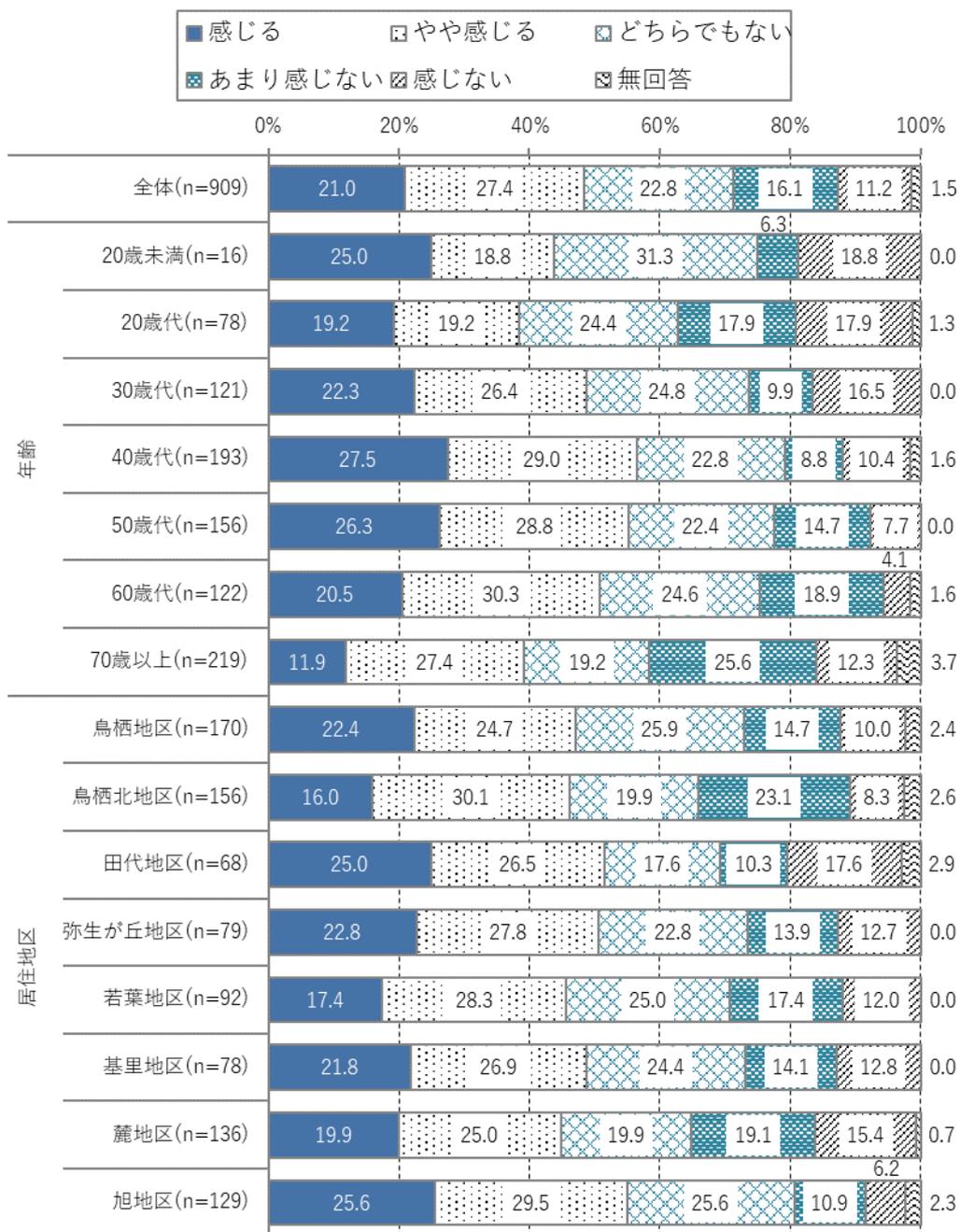
- 教育に関して、お聞きします。鳥栖市は独自の教育として、教科「日本語」に取り組んでいます。教科「日本語」についてご存じですかとたずねたところ、「聞いた事がない」と回答した人の割合が最も高く 60.0%となっていました。次いで、「知っている」(22.9%)、「名前だけ聞いたことがある」(16.2%)が続いています。
- 教科「日本語」の認知度は 20 歳未満が約 7 割 (68.8%) と他の年齢階層と比べて高くなっています。

質問 22 教育に関して、お聞きします。鳥栖市はインクルーシブ教育を進めていますが、インクルーシブ教育についてご存じですか。



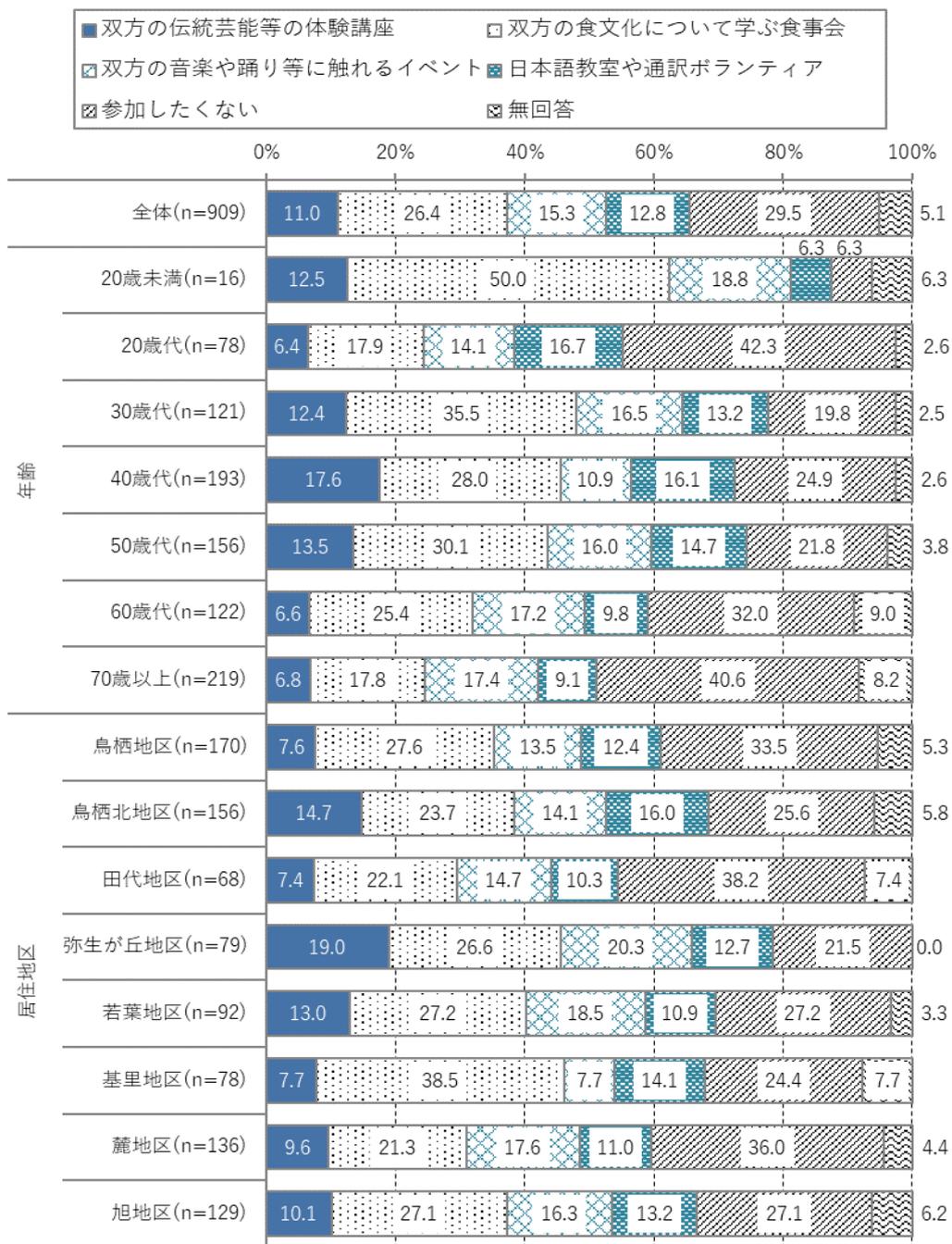
●教育に関して、お聞きします。鳥栖市はインクルーシブ教育を進めていますが、インクルーシブ教育についてご存じですかとたずねたところ、「聞いた事がない」と回答した人の割合が最も高く 75.5% となっていました。次いで、「名前だけ聞いたことがある」(14.6%)、「知っている」(8.9%)が続いています。

質問 23 男女共同参画に関して、お聞きします。鳥栖市では、男女共同参画の社会づくりに取り組んでいます。仕事や家庭での役割分担について、依然として男女の性別差を感じますか。



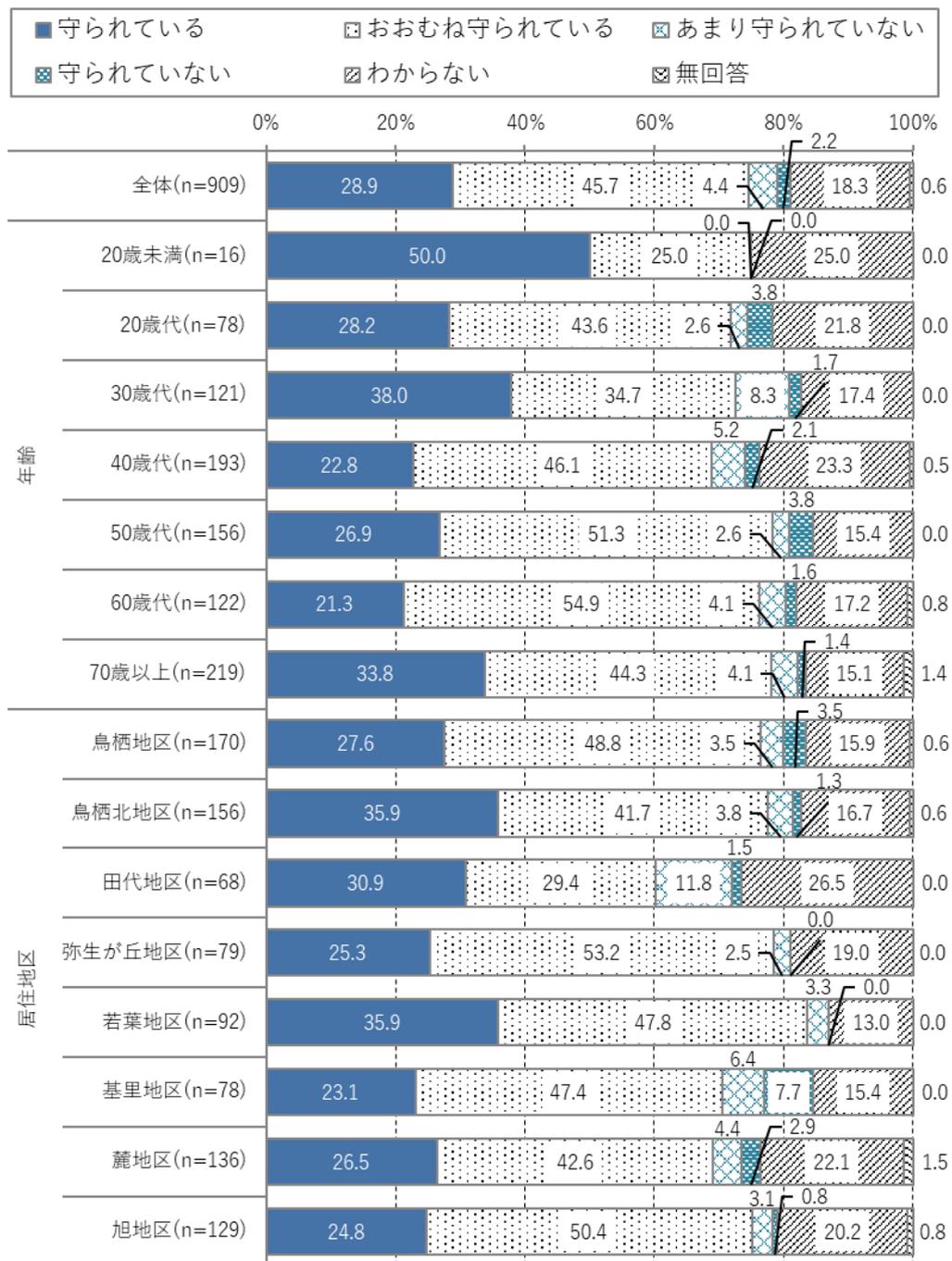
●男女共同参画に関して、お聞きします。鳥栖市では、男女共同参画の社会づくりに取り組んでいます。仕事や家庭での役割分担について、依然として男女の性別差を感じますかとたずねたところ、「やや感じる」と回答した人の割合が最も高く 27.4%となっていました。次いで、「どちらでもない」(22.8%)、「感じる」(21.0%)が続いています。

質問 24 国際交流に関して、お聞きします。鳥栖市では、市内在住の外国人が増加しています。多文化共生に向け、お互いの理解を進めるために、どのような機会があれば参加したいですか。



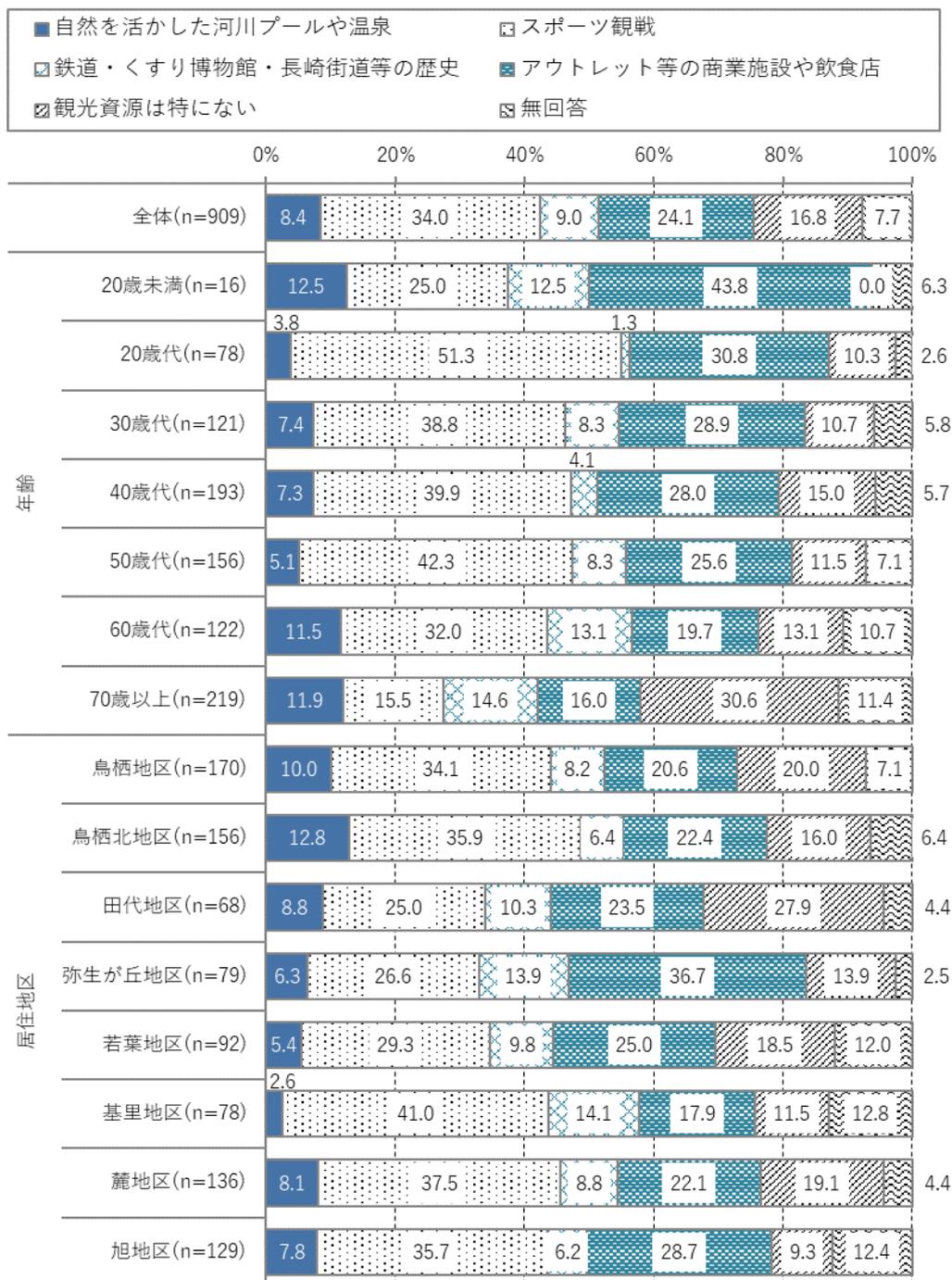
- 国際交流に関して、お聞きします。鳥栖市では、市内在住の外国人が増加しています。多文化共生に向け、お互いの理解を進めるために、どのような機会があれば参加したいですかとたずねたところ、「参加したくない」と回答した人の割合が最も高く 29.5%となっていました。次いで、「双方の食文化について学ぶ食事会」(26.4%)、「双方の音楽や踊り等に触れるイベント」(15.3%)が続いています。
- 参加を希望しない市民が3割程度存在し、特に20歳代と60歳以上はその傾向が強かったものの、全体としては双方の食文化について学ぶ食事会への参加意欲が高いことがみてとれます。

質問 25 人権に関して、お聞きします。鳥栖市では、人権が尊重される社会づくりに取り組んでいます。鳥栖での暮らしの中で、あなたや家族の人権が守られていると思いますか。



●人権に関して、お聞きします。鳥栖市では、人権が尊重される社会づくりに取り組んでいます。鳥栖での暮らしの中で、あなたや家族の人権が守られていると思いますかとたずねたところ、「おおむね守られている」と回答した人の割合が最も高く 45.7%となっていました。次いで、「守られている」(28.9%)、「わからない」(18.3%)が続いています。

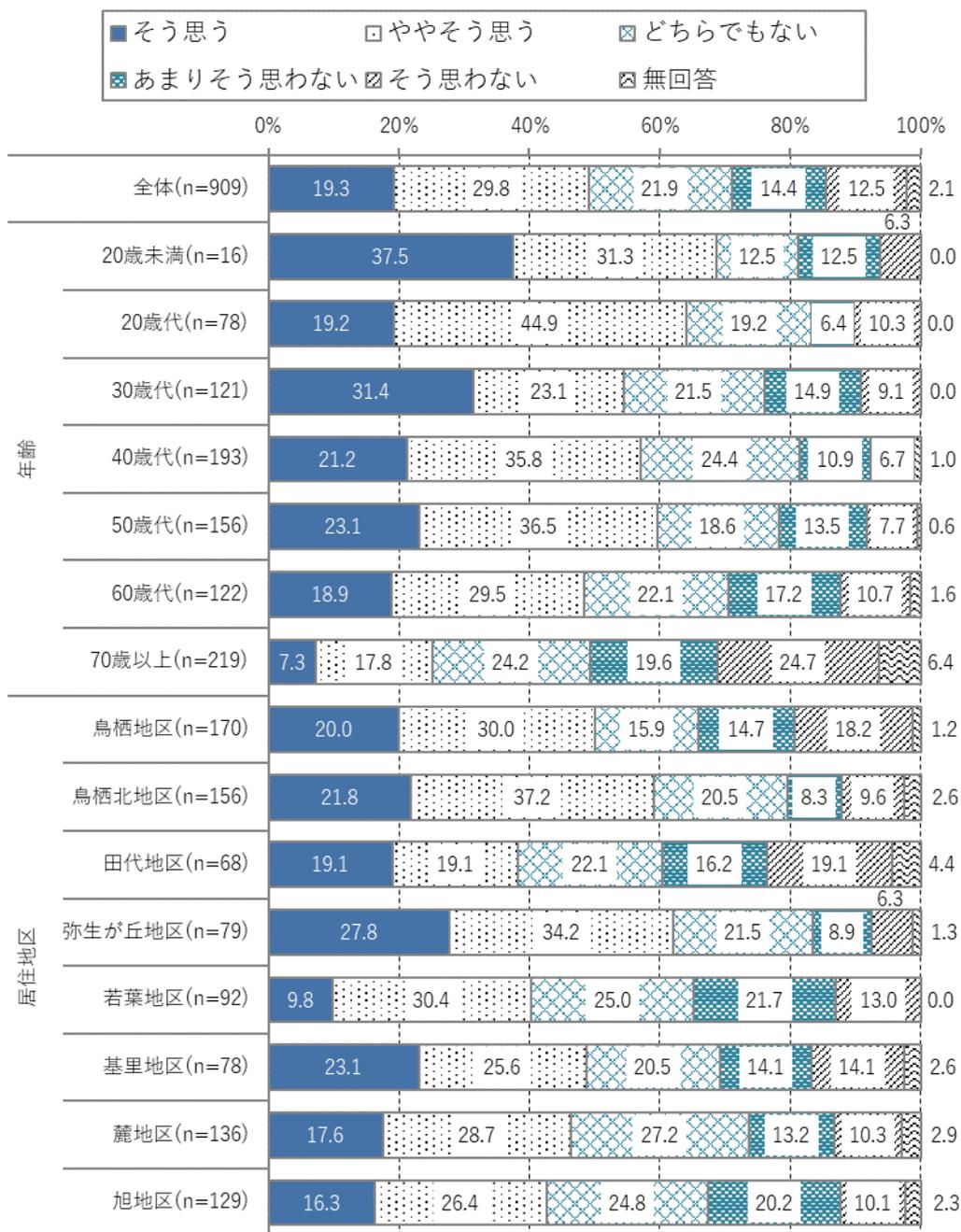
質問 26 観光に関して、お聞きします。鳥栖市では、観光の振興に取り組んでいます。鳥栖市の観光資源として連想するものはありますか。



●観光に関して、お聞きします。鳥栖市では、観光の振興に取り組んでいます。鳥栖市の観光資源として連想するものはありますかとたずねたところ、「スポーツ観戦」と回答した人の割合が最も高く34.0%となっていました。次いで、「アウトレット等の商業施設や飲食店」(24.1%)、「観光資源は特にはない」(16.8%)が続いています。

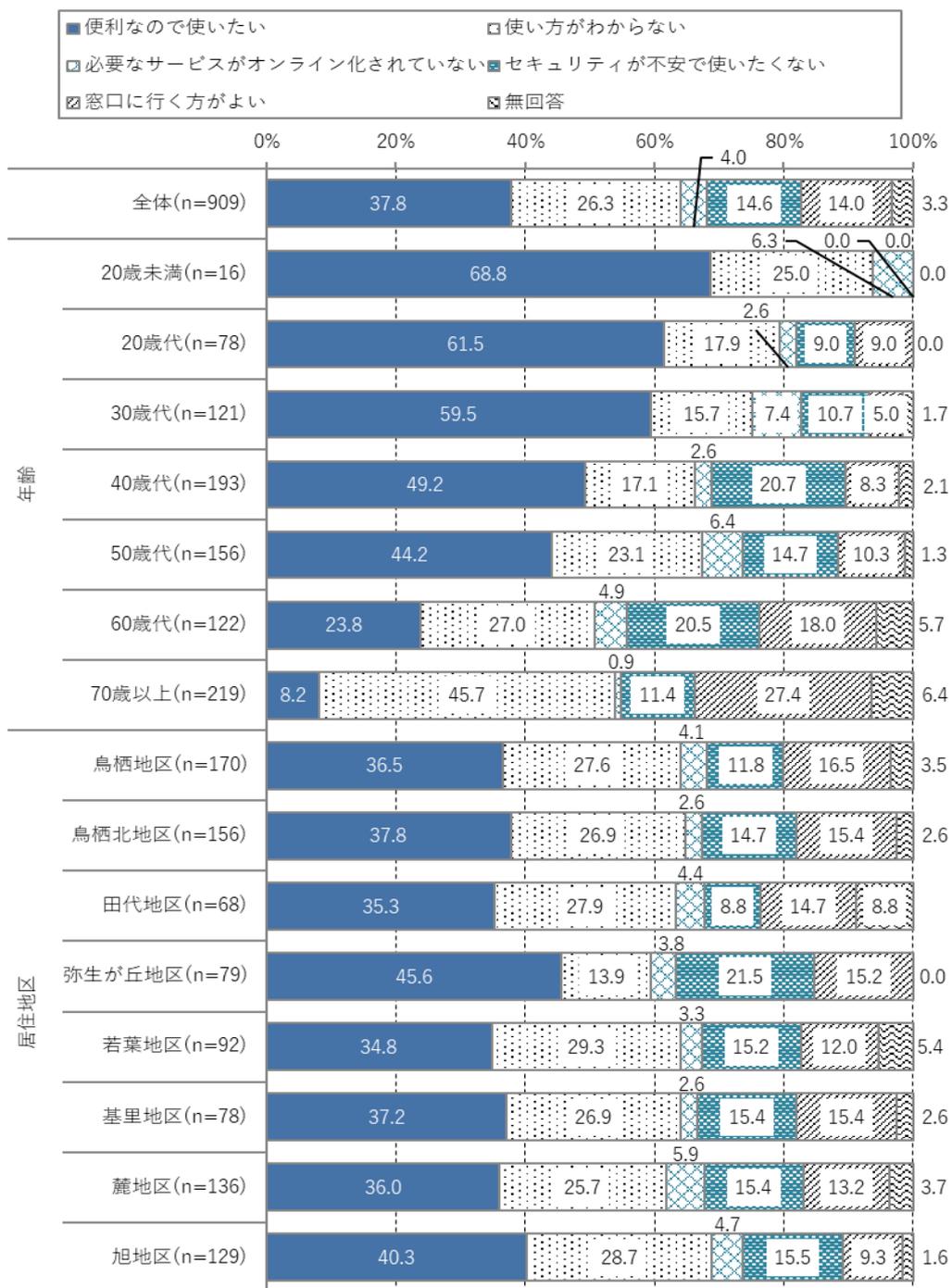
●観光資源について70歳代では「特にはない」と回答している割合が最も多くなっていますが、60歳代以下では「スポーツ観戦」、「アウトレットなどの商業施設や飲食店」を観光資源として捉えている割合が高いことがみてとれます。

質問 27 行政情報に関して、お聞きします。鳥栖市では、行政の情報発信の多様化に取り組んでいます。あなたはパソコンやスマートフォンから、ご自身に必要な行政サービスの情報を得ることができますか。



- 行政情報に関して、お聞きします。鳥栖市では、行政の情報発信の多様化に取り組んでいます。あなたはパソコンやスマートフォンから、ご自身に必要な行政サービスの情報を得ることができますかとたずねたところ、「ややそう思う」と回答した人の割合が最も高く 29.8%となっていました。次いで、「どちらでもない」(21.9%)、「そう思う」(19.3%)が続いています。
- 「そう思う」または「ややそう思う」と回答した人の割合は年齢階層が高くなるに従って低くなる傾向にありますが、60歳代でも約半数(48.4%)が肯定的な回答をしており、パソコンやスマートフォンから行政サービスの情報を得ることが一般化しつつあることが分かります。

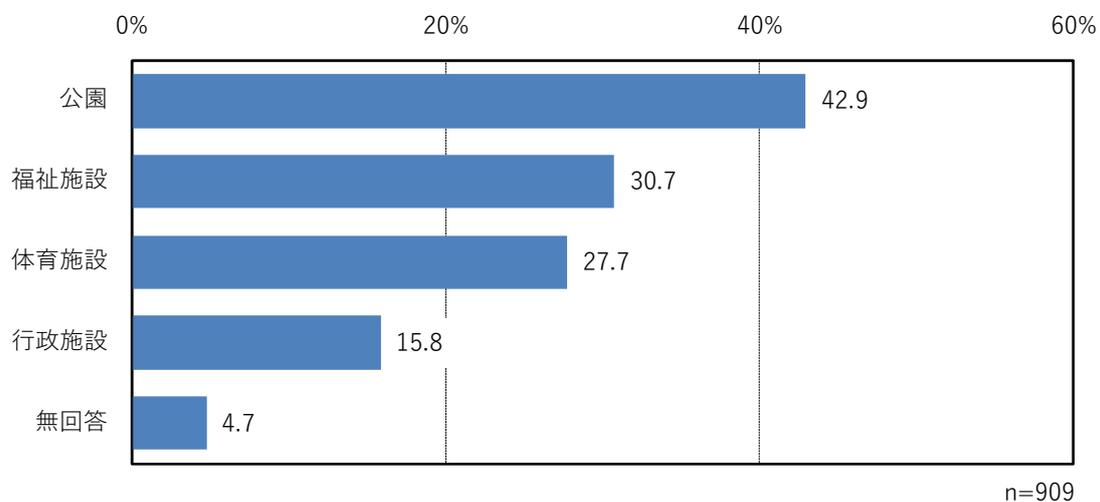
質問 28 情報化に関して、お聞きします。鳥栖市では、情報化の推進に取り組んでいます。オンライン申請などのデジタル化された行政サービスについてお尋ねします。



●情報化に関して、お聞きします。鳥栖市では、情報化の推進に取り組んでいます。オンライン申請などのデジタル化された行政サービスについてお尋ねしますとたずねたところ、「便利なので使いたい」と回答した人の割合が最も高く 37.8%となっていました。次いで、「使い方がわからない」(26.3%)、「セキュリティが不安で使いたくない」(14.6%)が続いています。

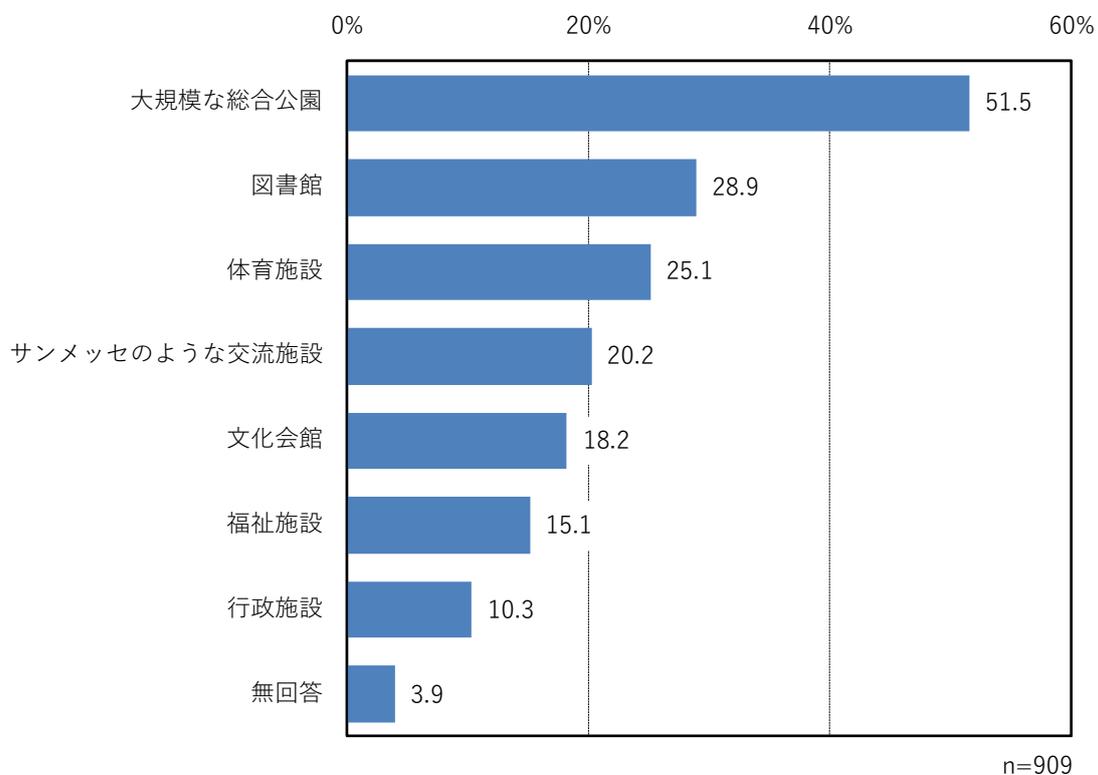
●「便利なので使いたい」と回答した人の割合は年齢階層が高くなるに従って低くなる傾向にあります。パソコンやスマートフォンから行政サービスの情報を得ることに比べてオンライン申請などのデジタル化された行政サービスについてはハードルが高いことが分かります。

質問 29 行政運営に関して、お聞きします。鳥栖市では、行政運営の効率化、実効性の向上に取り組んでいます。公共施設について、各地区にそれぞれ必要な施設はどれだと思いますか。



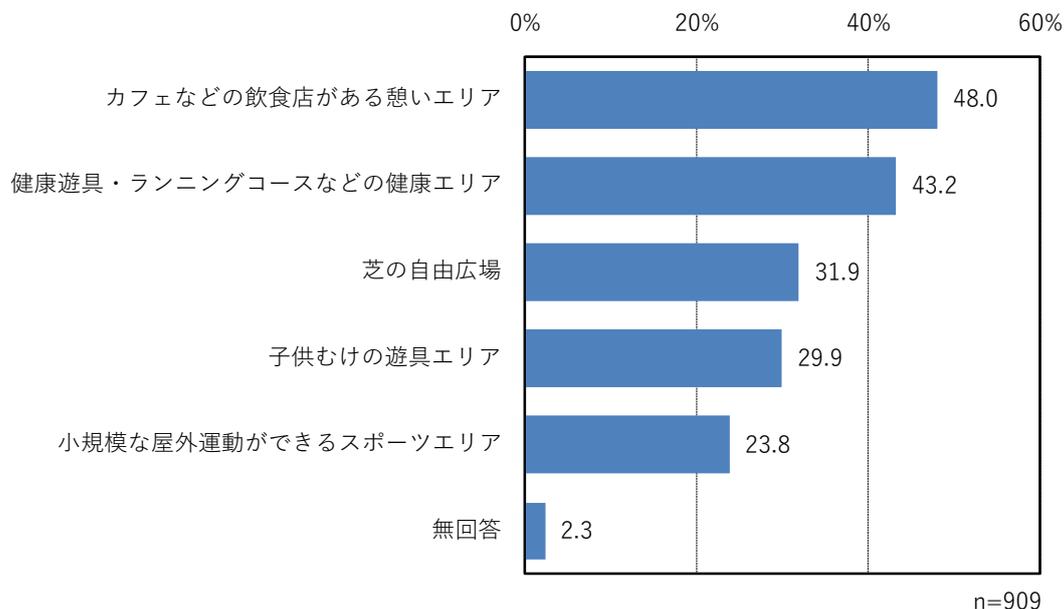
●行政運営に関して、お聞きします。鳥栖市では、行政運営の効率化、実効性の向上に取り組んでいます。公共施設について、各地区にそれぞれ必要な施設はどれだと思いますかとたずねたところ、「公園」と回答した人が最も多く、42.9%となっています。次いで、「福祉施設」(30.7%)、「体育施設」(27.7%)、「行政施設」(15.8%)が続いています。

質問 30 広域行政に関して、お聞きします。鳥栖市では、周辺自治体との連携に取り組んでいます。公共施設について、近隣の市町間で利用してもよい（近隣にあればよい）施設はどれだと思いますか。



●広域行政に関して、お聞きします。鳥栖市では、周辺自治体との連携に取り組んでいます。公共施設について、近隣の市町間で利用してもよい（近隣にあればよい）施設はどれだと思いますかとたずねたところ、「大規模な総合公園」と回答した人が最も多く、51.5%となっています。次いで、「図書館」（28.9%）、「体育施設」（25.1%）、「サンメッセのような交流施設」（20.2%）が続いています。

質問 31 公園に関して、お聞きします。鳥栖市では、うるおいと安らぎのある緑の空間づくりに取り組んでいます。市民公園と中央公園に充実させたい施設はどれですか。



●公園に関して、お聞きします。鳥栖市では、うるおいと安らぎのある緑の空間づくりに取り組んでいます。市民公園と中央公園に充実させたい施設はどれですかとたずねたところ、「カフェなどの飲食店がある憩いエリア」と回答した人が最も多く、48.0%となっています。次いで、「健康遊具・ランニングコースなどの健康エリア」(43.2%)、「芝の自由広場」(31.9%)、「子供向けの遊具エリア」(29.9%)が続いています。

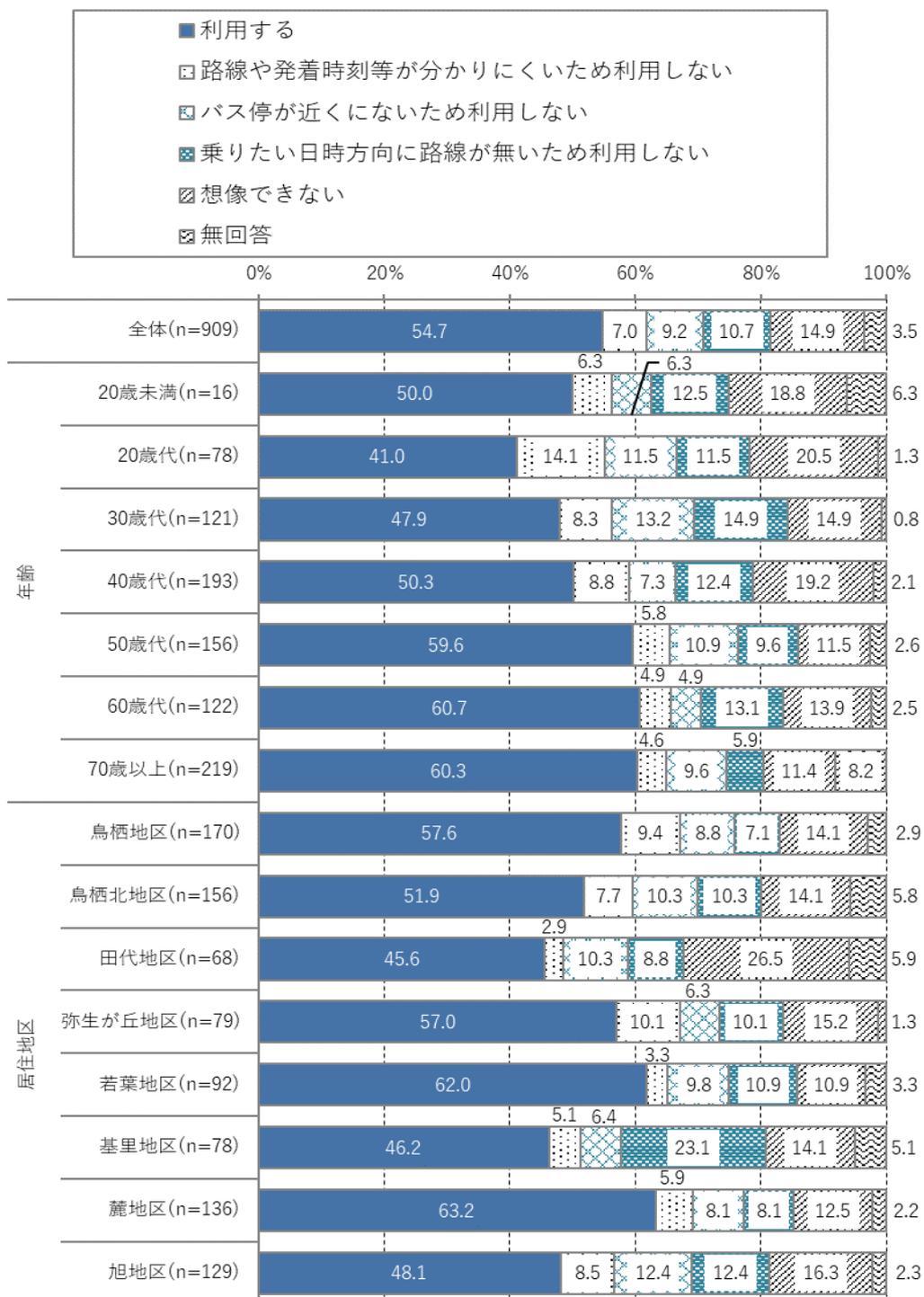
[年齢別クロス]

		子供むけの遊具エリア	芝の自由広場	カフェなどの飲食店がある憩いエリア	小規模な屋外運動ができるスポーツエリア	健康遊具・ランニングコースなどの健康エリア	無回答
年齢	20歳未満(n=16)	25.0	37.5	56.3	6.3	25.0	0.0
	20歳代(n=78)	34.6	41.0	59.0	21.8	35.9	0.0
	30歳代(n=121)	56.2	50.4	51.2	29.8	41.3	0.0
	40歳代(n=193)	35.8	27.5	52.8	26.4	50.8	1.6
	50歳代(n=156)	23.7	26.9	51.3	23.7	47.4	0.0
	60歳代(n=122)	23.8	34.4	45.1	27.9	42.6	4.9
	70歳以上(n=219)	16.9	24.2	36.1	17.8	38.8	5.5

●年齢別にみると年齢が若くなるにしたがって「カフェなどの飲食店がある憩いエリア」と回答がおおむね多くなっており、20歳代が最も多く59.0%となっています。

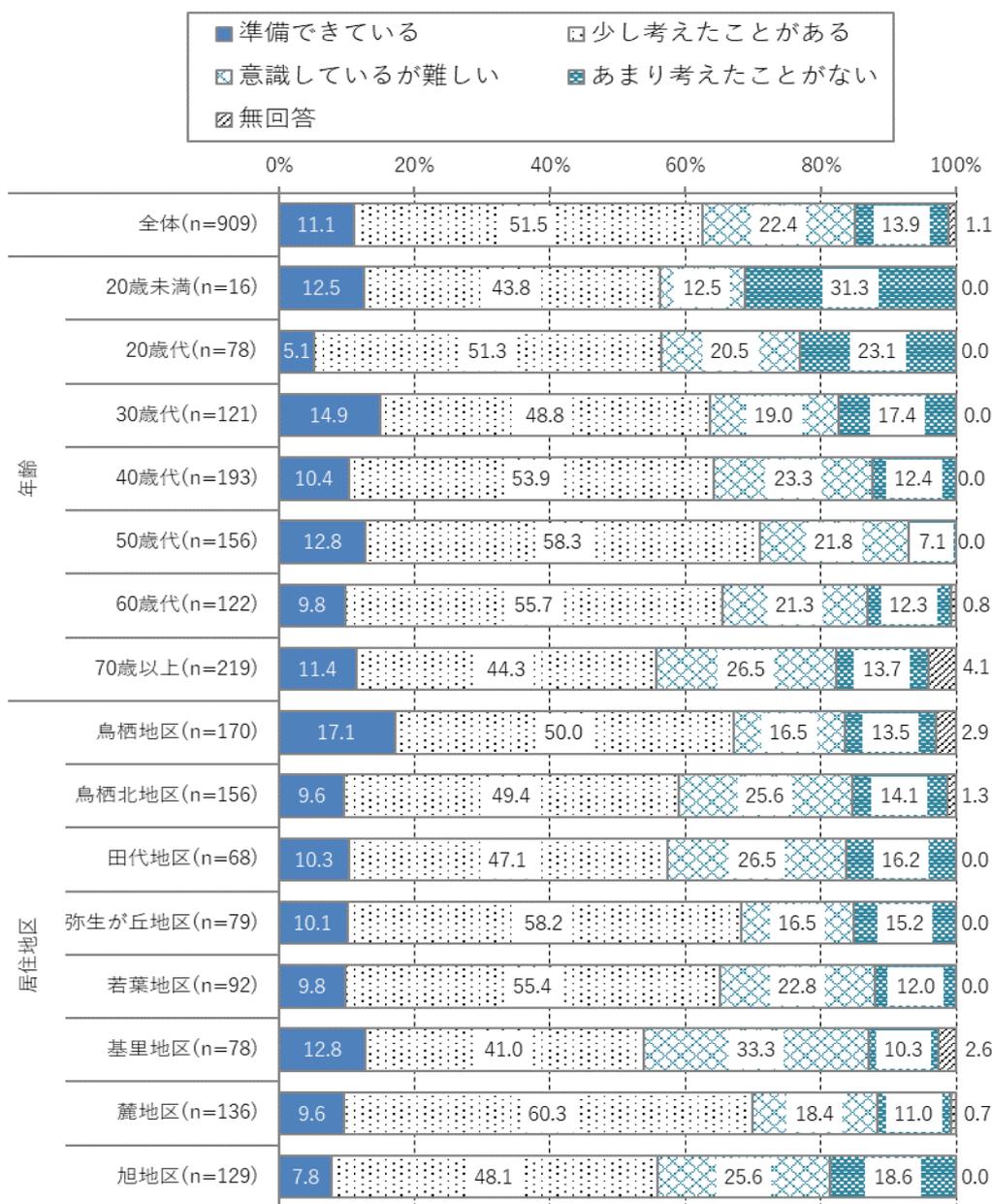
●「子供向けの遊具エリア」と回答した人の割合は30歳代が多く、56.2%となっています。

質問 32 公共交通に関して、お聞きします。鳥栖市では、将来的な路線バスやミニバスのあり方を検討しています。自動車に乗れなくなった場合を前提にお答えください。その場合、路線バスやミニバスといった公共交通を利用すると思いますか。



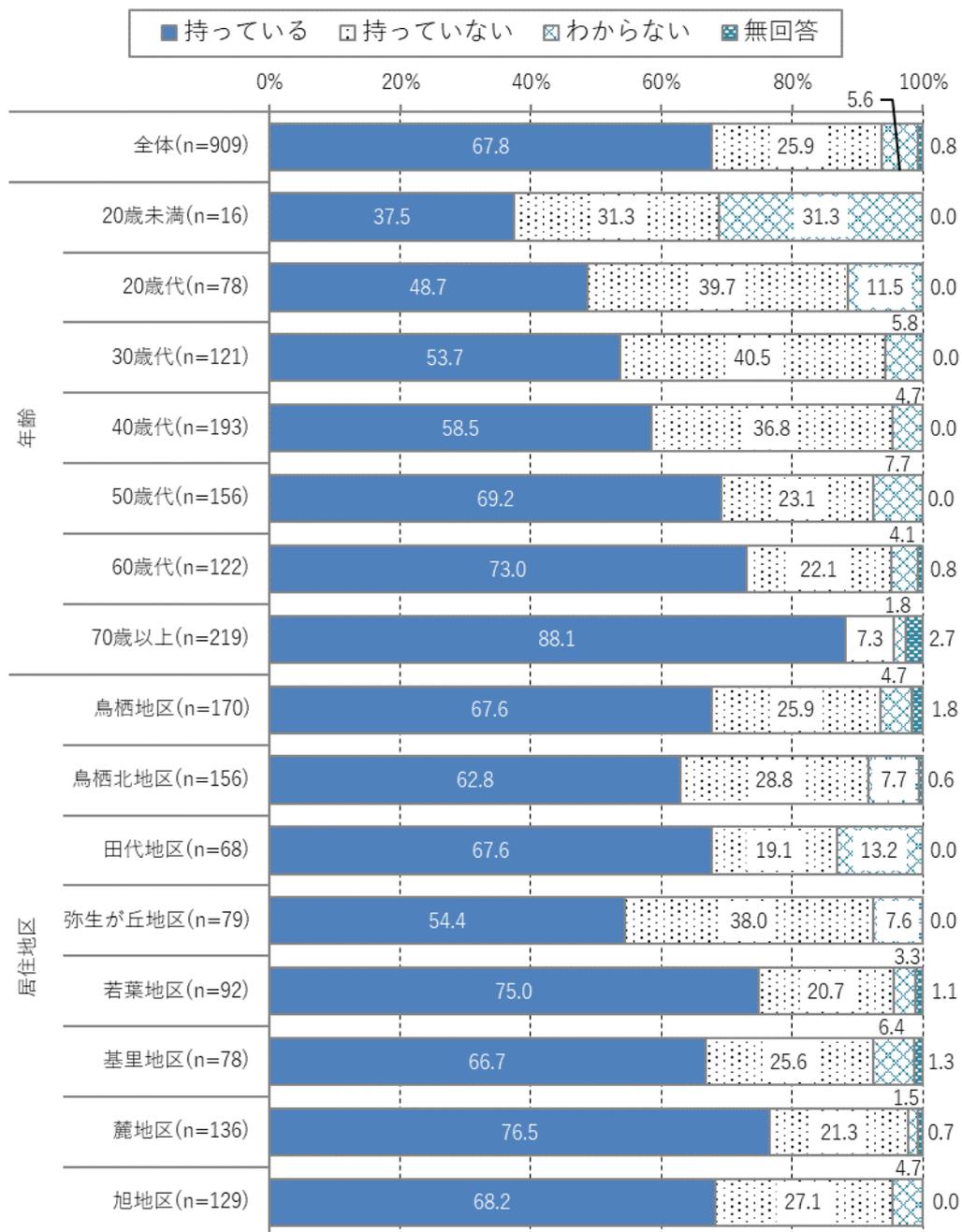
- 「利用する」と回答した人の割合が最も高く 54.7%となっていました。次いで、「想像できない」(14.9%)、「乗りたい日時方向に路線が無いため利用しない」(10.7%)が続いています。
- 公共交通のニーズの高さが伺える一方、地区別では、利用すると答えた人は田代地区、基里地区、旭地区で少なく、基里地区は乗りたい日時方向に路線が無いためとの理由が多い結果となりました。

質問 33 災害に関して、お聞きします。鳥栖市では、災害に強いまちづくりに取り組んでいます。あなたは、災害情報の収集方法や避難場所の確認等、防災について考えたことがありますか。



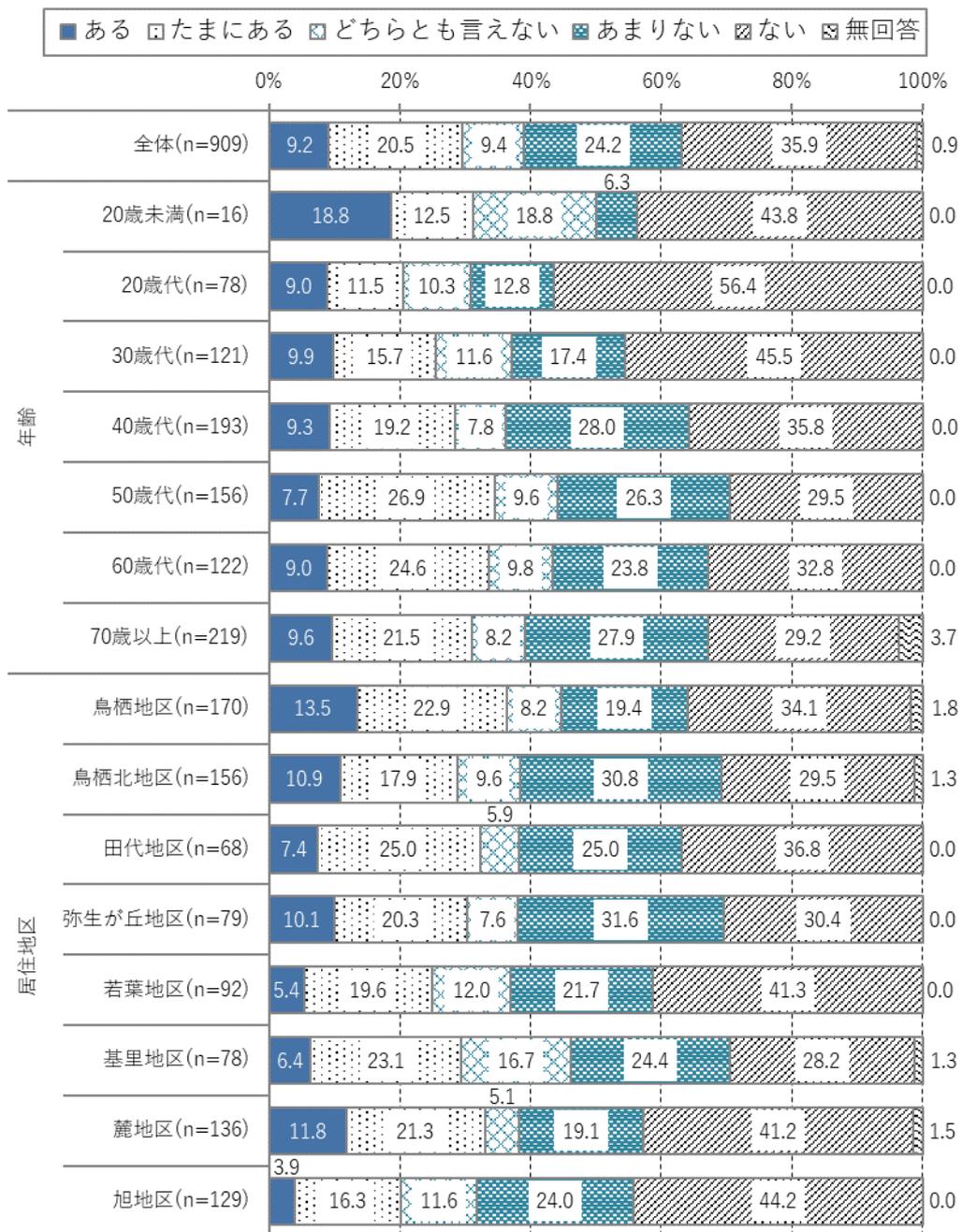
- 災害に関して、お聞きします。鳥栖市では、災害に強いまちづくりに取り組んでいます。あなたは、災害情報の収集方法や避難場所の確認等、防災について考えたことがありますかとたずねたところ、「少し考えたことがある」と回答した人の割合が最も高く 51.5%となっていました。次いで、「意識しているが難しい」(22.4%)、「あまり考えたことがない」(13.9%)が続いています。
- 「第4期鳥栖市地域福祉計画・地域福祉活動計画」策定にあたって実施したアンケート調査によれば、災害時の避難場所について、「知っている」と回答した人は全体の 80.5%でした。今回の調査で「準備できている」と回答しなかった市民の中にも、地域の避難場所を知っている人がいると考えられます。近年、全国各地で発生する大規模災害を目の当たりにして、市民の意識にある「準備できている」と感じるハードルが高くなっている可能性もあります。

質問 34 医療体制に関して、お聞きします。鳥栖市では、医療費の適正化に取り組んでいます。『かかりつけ医』を持っていますか？



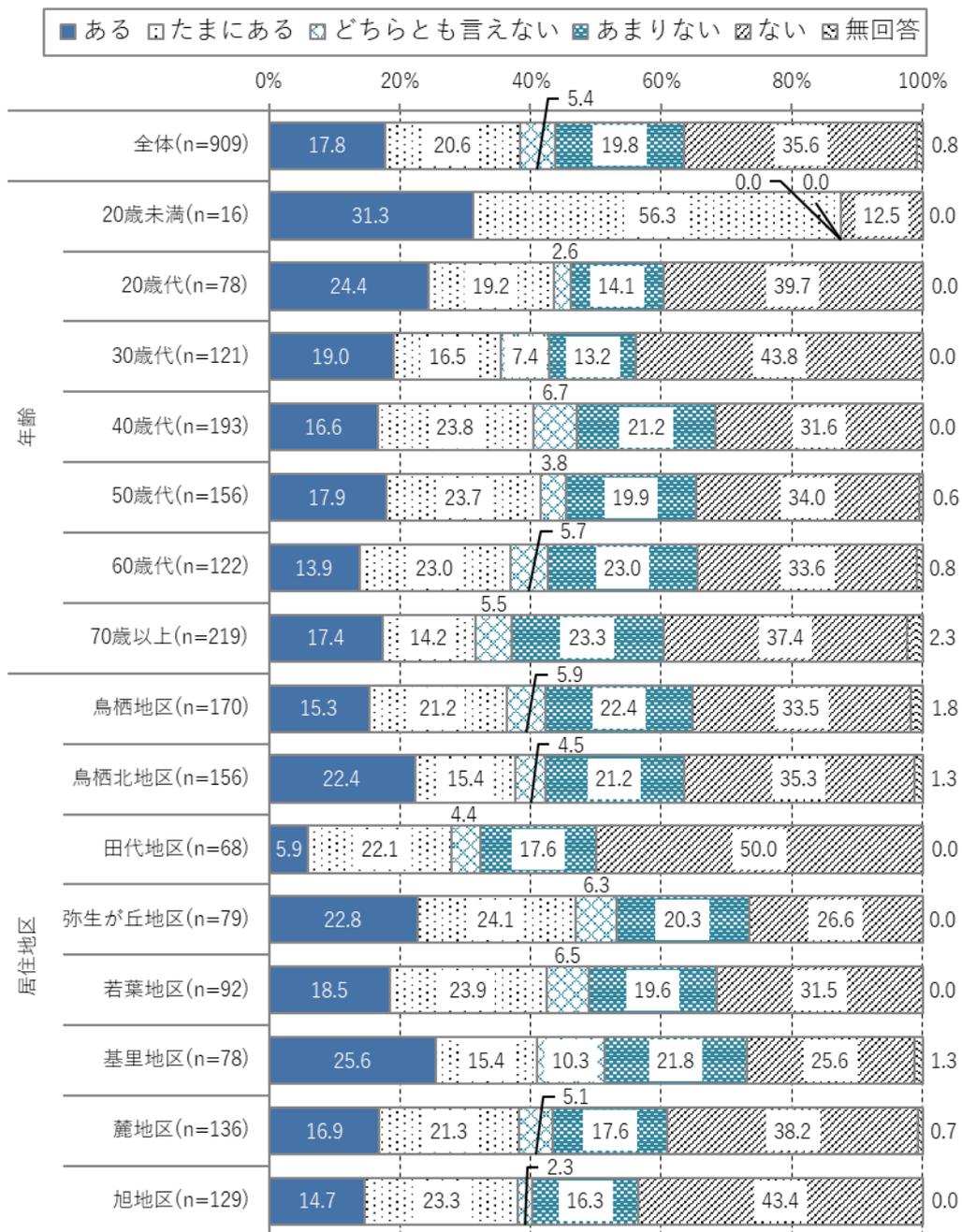
- 医療体制に関して、お聞きします。鳥栖市では、医療費の適正化に取り組んでいます。『かかりつけ医』を持っていますかとたずねたところ、「持っている」と回答した人の割合が最も高く 67.8%となっていました。次いで、「持っていない」(25.9%)、「わからない」(5.6%)が続いています。
- かかりつけ医は年齢階層が高くなるに従って「持っている」と回答した人の割合が高くなる傾向にあります。

質問 35 文化芸術に関して、お聞きします。鳥栖市では、文化芸術に親しめる環境づくりに取り組んでいます。文化芸術を観覧する、または自身で活動する機会がありますか。



- 文化芸術に関して、お聞きします。鳥栖市では、文化芸術に親しめる環境づくりに取り組んでいます。文化芸術を観覧する、または自身で活動する機会がありますかとたずねたところ、「ある」、「たまにある」と回答した人の割合は全体で 29.7%となっています。
- 文化芸術を観覧する、または自身で活動する機会が「ある」、「たまにある」と回答した人の割合は、50歳代で最も高い 34.6%となり、60歳代以上の年代も 30.0%を超えています。

質問 36 スポーツに関して、お聞きします。鳥栖市では、スポーツに親しめる環境づくりに取り組んでいます。スポーツを観戦する、または自身でプレーする機会がありますか。



- スポーツに関して、お聞きします。鳥栖市では、スポーツに親しめる環境づくりに取り組んでいます。スポーツを観戦する、または自身でプレーする機会が「ある」、「たまにある」と回答した人の割合は、全体で38.4%と高く、特に20歳未満、20歳代、40歳代、50歳代で40.0%を超えています。
- スポーツを観戦する、または自身でプレーする機会が「ある」「たまにある」と回答した人の割合は、弥生が丘地区、若葉地区、基里地区が40.0%を超えています。一方、田代地区では28.0%と比較的低くなっています。

質問 37 スポーツに関して、お聞きします。鳥栖市では、スポーツに親しめる環境づくりに取り組んでいます。鳥栖市において、充実させたい体育施設はありますか。

	全体	20歳代未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	不明
屋内体育施設	96	2	6	12	20	23	10	22	1
個人スポーツ (ジム、トレーニング室など)	57	1	3	8	14	14	6	11	0
チームスポーツ (体育館など)	39	1	3	4	6	9	4	11	1
屋外体育施設	76	1	6	9	19	13	9	19	0
個人スポーツ (公園、ウォーキングコースなど)	27	0	4	3	3	3	5	9	0
チームスポーツ (グラウンド、球技場など)	49	1	2	6	16	10	4	10	0
プール	58	2	4	6	15	12	12	7	0
現状の体育施設で充足している	17	0	0	1	1	4	7	4	0

この他にも武道場、サーキット場などの多様な意見、サガン鳥栖や久光スプリングスへの支援など、設問内容以外の回答もありました。

- スポーツに関して、お聞きします。鳥栖市では、スポーツに親しめる環境づくりに取り組んでいます。鳥栖市において、充実させたい体育施設はありますかと自由回答方式でたずねたところ、ジムや体育館などの「屋内体育施設」に関する回答が最も多く 96 件となりました。次いで、公園やウォーキングコース、野球やサッカーなどの「屋外体育施設」(76 件)、「プール」(58 件) が続き、多様なニーズが伺えます。
- 内訳としては、ジムやウォーキングコース、プールなど、個人で利用できる体育施設に関する回答(142 件) が多くなりました。屋内体育施設、プールについては、夜間の利用や、料金が安価であること、雨天や猛暑など天候に影響されず気軽に利用できることについての意見が多く寄せられました。
- チームスポーツに関する回答(88 件) には、野球、サッカー、バスケットボール等多目的に使用できる施設に関する意見が多かったことから、多目的に利用ができる施設が求められていることがわかります。

第3章 調査票

《連番》

鳥栖市のまちづくりに関する市民満足度調査

日頃から、市政へのご理解とご協力をいただきありがとうございます。

本市では、「第7次鳥栖市総合計画（令和3年度～令和12年度）」で掲げる6つの基本目標に基づき、「住みたいまち、活躍できるまち、選ばれるまち鳥栖ー“鳥栖スタイルの深化”ー」の実現に向けた取組を進めています。

この調査は、市民の皆様のご意見を今後のまちづくりの参考にするためのものです。調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願いいたします。

鳥栖市長 向門 慶人

【回答方法】以下の（1）（2）どちらかの方法で回答をお願いします。

（1）WEB回答

下記のURLをご参照いただくか、右のQRコードを読み取ってご回答をお願いします。

URL <https://wsurvey.jp/s.php?clear=1&a=tosu-167->



※WEBでの回答の場合には最初の画面で、調査票の右上に記載の5桁の数字を入力してください。

※この5桁の数字は二重回答を防止するもので、個人を特定するものではありません。

（2）郵送回答

回答はすべて別冊調査票に直接ご記入ください。

ご回答いただきました調査票を同封の「返信用封筒（切手は不要）」に入れ、郵便ポストに投函して下さい。

- ◆対象は、18歳以上の市民の皆様の中から2,000名を無作為抽出しました。
- ◆調査結果は、本調査の目的以外に使用することはなく、また、個人が特定されることはありません。
- ◆回答はWEB回答及び郵送回答どちらも令和5年11月30日（木）までをお願いします。

【本調査（アンケート）に関するお問い合わせ先】

鳥栖市 総合政策課 政策推進係

〒841-8511 鳥栖市宿町1118番地

TEL：0942-85-3511 Email：sougou@city.tosu.lg.jp

はじめに、あなたご自身のことを教えてください。

当てはまる項目を1つ選び、番号に○印を付けてください。

1. あなたの「年齢」を教えてください。

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 20歳未満 | 2. 20歳～29歳 | 3. 30歳～39歳 |
| 4. 40歳～49歳 | 5. 50歳～59歳 | 6. 60歳～69歳 |
| 7. 70歳以上 | | |

2. あなたが「現在お住いの地区」を教えてください。

- | | | |
|-----------|----------|---------|
| 1. 鳥栖地区 | 2. 鳥栖北地区 | 3. 田代地区 |
| 4. 弥生が丘地区 | 5. 若葉地区 | 6. 基里地区 |
| 7. 麓地区 | 8. 旭地区 | |

鳥栖地区	轟木町、元町、秋葉町、藤木町、今泉町、真木町、高田町、東町、本通町、京町、安楽寺町、事業団宿舎、南部団地、つばさ鳥栖
鳥栖北地区	本町、本鳥栖町、大正町、古野町、鎗田町、土井町、神辺合町、布津原町、宿町
田代地区	田代昌町、田代新町、田代上町、田代外町、田代外町住宅区、田代大官町、田代本町、永吉町、加藤田町
弥生が丘地区	柚比町、今町、弥生が丘東区、弥生が丘中央区、弥生が丘南区
若葉地区	神辺町、萱方町、浅井町、柳区、古賀町、河内町、古賀団地、虹が丘町
基里地区	酒井西町、酒井東町、菅根崎町、水屋町、飯田町、原町、姫方町、幡崎町、桜町、松原町
麓地区	蔵上町、養父町、牛原町、山浦町、桜ヶ丘町、山都町、原古賀町、平田町、立石町、一本杉区
旭地区	江島町、村田町、西新町、儀徳町、前田町、幸津町、下野町、三島町、村田新町、競馬場団地、西田町、青葉台、あさひ新町、棧敷団地

3. あなたの「鳥栖市での居住年数」を教えてください。

- | | | |
|------------|----------|-----------|
| 1. 1年未満 | 2. 1年～5年 | 3. 6年～10年 |
| 4. 11年～20年 | 5. 21年以上 | |

鳥栖市のことについて、お聞きします。

あなたのお考えに最も近い番号に○印を付けてください。

質問 1 環境に関して、お聞きします。

鳥栖市では、環境保全活動に取り組んでいます。

町区で行われている資源物回収や、リサイクルプラザへ資源物の持ち込み等でリサイクルをしたことがありますか？

1. 毎回している 2. たまにしている 3. 面倒なのでしたくない
4. 一度もない 5. 別の方法でリサイクルしている

質問 2 環境に関して、お聞きします。

鳥栖市では、ごみ減量化やリサイクルの推進に取り組んでいます

普段の生活でCO₂(二酸化酸素)排出削減について意識していますか？

1. 意識して取り組んでいる 2. 意識しているがなかなかできない
3. 何をすればいいかわからない 4. 関心がない

質問 3 土地利用計画に関して、お聞きします。

鳥栖市では、自然環境と調和した計画的な土地利用に取り組んでいます。

お住いの地区には空き家が多いと思いますか？

1. 多い 2. 以前に比べ増えた 3. 以前より減った
4. 少ない 5. わからない

[鳥栖市での取組]

・空き家に関する無料相談、空き家バンク制度などに取り組んでいます。

質問 4 土地利用計画に関して、お聞きします。

鳥栖市では、自然環境と調和した計画的な土地利用に取り組んでいます。

お住いの地区には未利用地が多いと思いますか？

1. 多い 2. 以前に比べ多い 3. 以前より少ない
4. 少ない 5. わからない

未利用地とは、宅地、事業用地として活用できそうな空き地を指します。

質問 5 まちづくりに関して、お聞きします。

鳥栖市では、まちづくりの拠点整備に取り組んでいます。

鳥栖駅周辺の活性化について、どのようにお考えですか？

1. 発展しているため現状で満足
2. 発展しているが、まだ余地がある
3. あまり発展していないので不満
4. 発展しなくてよい
5. 鳥栖駅周辺に関心がない

質問 6 まちづくりに関して、お聞きします。

鳥栖駅周辺の将来像として、どのようなことを期待しますか。

1. 日常生活に便利な店舗や施設が充実する地区
2. 市内外問わず観光やイベント等で人が集まり賑わいや活気のある地区
3. バス等の公共交通機関や駐車場、駐輪場が充実した交通利便性の高い地区
4. 公園や緑地等憩いや安らぎのある地区
5. 通勤に便利な高層マンションの立ち並ぶ地区

質問 7 まちづくりに関して、お聞きします。

鳥栖駅周辺に商業施設以外ではどのような施設や機能を充実させたいですか。

1. 介護施設（老人ホーム、ケアハウス等）
2. 子育て施設（子育て支援センター、保育所等）
3. 教育・文化施設（図書館、文化ホール、学校、歴史資料館等）
4. 医療機関（病院）
5. 金融機関（銀行等）

質問 8 まちづくりに関して、お聞きします。

新鳥栖駅周辺の活性化について、どのようにお考えですか？

1. 発展しているため現状で満足
2. 発展しているが、まだ余地がある
3. あまり発展していないので不満
4. 発展しなくてよい
5. 新鳥栖駅周辺に関心がない

質問 9 まちづくりに関して、お聞きします。

新鳥栖駅周辺の将来像として、どのようなことを期待しますか。

1. 日常生活に便利な店舗や施設が充実する地区
2. 市内外問わず観光やイベント等で人が集まり賑わいや活気のある地区
3. バス等の公共交通機関や駐車場、駐輪場が充実した交通利便性の高い地区
4. 公園や緑地等憩いや安らぎのある地区
5. 通勤に便利な高層マンションの立ち並ぶ地区

質問 10 主要な道路に関して、お聞きします。

鳥栖市は、市内の「主要な道路」が快適に通行できるよう取り組んでいます。
鳥栖市の「主要な道路」には、渋滞するイメージがありますか。

1. そう思う 2. ややそう思う 3. どちらでもない
4. あまりそう思わない 5. そう思わない

主要な道路とは国道3号、34号、県道17号バイパス、県道川久保鳥栖線などを指します。

質問 11 生活道路に関して、お聞きします。

鳥栖市は、市内の「生活道路」（上の質問の「主要な道路」以外の道路）が快適に通行できるよう取り組んでいます。

鳥栖市の「生活道路」には、渋滞するイメージがありますか。

1. そう思う 2. ややそう思う 3. どちらでもない
4. あまりそう思わない 5. そう思わない

質問 12 生活道路に関して、お聞きします。

鳥栖市は、安心して通行できる、歩行者にやさしい「生活道路」の整備に取り組んでいます。

鳥栖市の「生活道路」は、歩行者や自転車にとって安全で快適だと思いますか？

1. そう思う 2. ややそう思う 3. どちらでもない
4. あまりそう思わない 5. そう思わない

質問 13 防犯に関して、お聞きします。

鳥栖市では、安全で安心して暮らせるまちづくりに取り組んでいます。

お住いの地区の治安はよいと思いますか？

1. 良い 2. 以前に比べ良くなった 3. 以前に比べ悪くなった
4. 悪い 5. わからない

質問 14 健康づくりに関して、お聞きします。

鳥栖市では、健康で生き生きと暮らせるまちづくりに取り組んでいます。

市が市民向けに実施している健康診査、がん検診の実施体制について、市民の皆様により多く受診いただくために、どんな日程・時間帯の設定が良いと思いますか？

※現在年間 21 日間(平日 16 日、土日 5 日)の午前に行っています

- 1. 平日午後
- 2. 平日夕方
- 3. 土日
- 4. 回数を増やせばよい
- 5. 今のままでよい

[鳥栖市での取組]

健康診査・がん検診のご予約方法はこちら

市ホームページ(PDF)へのリンク

<https://www.city.tosu.lg.jp/uploaded/attachment/23843.pdf>



質問 15 子育てに関して、お聞きします。

鳥栖市では、子育て支援の充実に取り組んでいます。

どんな子育て支援を充実させるべきだと思いますか。(自由記述)

質問 16 高齢者福祉に関して、お聞きします。

鳥栖市では、高齢者の自立と社会参加への支援に取り組んでいます。

お住いの地区で、高齢者が活発に健康づくりに取り組んでいるイメージはありますか。

- 1. 町の教室や公民館などで取り組んでいるイメージがある
- 2. 公園などで取り組んでいるイメージがある
- 3. 自宅で取り組んでいるイメージがある
- 4. ジムなど有料施設で取り組んでいるイメージがある
- 5. 取り組んでいるイメージはない

質問 17 障害者福祉への支援に関して、お聞きします。

鳥栖市では、障害者の自立と社会参加への支援に取り組んでいます。

鳥栖での暮らしの中で、障害者に対する差別・偏見や疎外感を感じることはありませんか。

1. そう思う 2. ややそう思う 3. どちらでもない
4. あまりそう思わない 5. そう思わない

質問 18 地域福祉に関して、お聞きします。

鳥栖市では、地域福祉の充実に取り組んでいます。

町内会活動やボランティア活動に参加していますか。

1. できるだけ参加している 2. 参加すべきと思うができていない
3. 参加したくない 4. 参加したことがない

質問 19 市民協働に関して、お聞きします。

鳥栖市では、市民協働のまちづくりに取り組んでいます。

お住いの地区のまちづくり推進協議会の活動に参加したことがありますか。

1. できるだけ参加している 2. 参加すべきと思うができていない
3. 参加したくない 4. 参加したことがない

[鳥栖市での取組]

・まちづくり推進協議会では、自治会や各種団体が連携して活動することで地域の課題解決を目指します。地区文化祭、クリーンアップウォークラリー、餅つきなどの行事にも取り組んでいます。

質問 20 生涯学習に関して、お聞きします。

鳥栖市では、生涯学習の機会の充実に取り組んでいます。

公民館やまちづくり推進センター等で行われている講座や教室に参加したことがありますか。また、参加してみたいと思いませんか。

1. よく参加している 2. 日時が合えば参加してみたい
3. 興味のある教室があれば参加してみたい
4. 参加したいと思わない 5. 教室があることを知らない

[鳥栖市での取組]

・パソコン教室、放課後こども教室、ヨガ教室、健康講座等を開催しています。

質問 21 教育に関して、お聞きします。

鳥栖市は独自の教育として、教科「日本語」に取り組んでいます。教科「日本語」についてご存じですか。

1. 知っている 2. 名前だけ聞いたことがある 3. 聞いた事がない

[鳥栖市での取組]

・日本人として大切にしたい日本の言語や伝統文化、挨拶や礼儀作法などを具体的な体験を通して学習しています。

質問 22 教育に関して、お聞きします。

鳥栖市はインクルーシブ教育を進めています。インクルーシブ教育についてご存じですか。

1. 知っている 2. 名前だけ聞いたことがある 3. 聞いた事がない

[鳥栖市での取組]

・障害のあるなしに関わらず、すべての子どもたちが、共に学び共に成長できるよう、特別支援教育や基礎的環境整備等のさらなる充実を図っています。

市ホームページへのリンク

<https://www.city.tosu.lg.jp/soshiki/25/39921.html>



質問 23 男女共同参画に関して、お聞きします。

鳥栖市では、男女共同参画の社会づくりに取り組んでいます。

仕事や家庭での役割分担について、依然として男女の性別差を感じますか。

1. 感じる 2. やや感じる 3. どちらでもない
4. あまり感じない 5. 感じない

質問 24 国際交流に関して、お聞きします。

鳥栖市では、市内在住の外国人が増加しています。

多文化共生に向け、お互いの理解を進めるために、どのような機会があれば参加したいですか。

1. 双方の伝統芸能等の体験講座 2. 双方の食文化について学ぶ食事会
3. 双方の音楽や踊り等に触れるイベント
4. 日本語教室や通訳ボランティア 5. 参加したくない

[鳥栖市での取組]

・こくさいカフェや日本語教室の実施、外国語による情報の作成、配布などを行っています。

質問 25

人権に関して、お聞きします。

鳥栖市では、人権が尊重される社会づくりに取り組んでいます。

鳥栖での暮らしの中で、あなたや家族の人権が守られていると思いますか

1. 守られている 2. おおむね守られている
3. あまり守られていない 4. 守られていない 5. わからない

質問 26 観光に関して、お聞きします。

鳥栖市では、観光の振興に取り組んでいます。

鳥栖市の観光資源として連想するものはありますか。

1. 自然を活かした河川プールや温泉 2. スポーツ観戦
3. 鉄道・くすり博物館・長崎街道等の歴史
4. アウトレット等の商業施設や飲食店 5. 観光資源は特にない

質問 27 行政情報に関して、お聞きします。

鳥栖市では、行政の情報発信の多様化に取り組んでいます。

あなたはパソコンやスマートフォンから、ご自身に必要な行政サービスの情報を得ることができますか。

1. そう思う 2. ややそう思う 3. どちらでもない
4. あまりそう思わない 5. そう思わない

[鳥栖市での取組]

・x(旧ツイッター)やフェイスブックなどを活用した情報発信・HPの充実に取り組んでいます。

質問 28 情報化に関して、お聞きします。

鳥栖市では、情報化の推進に取り組んでいます。

オンライン申請などのデジタル化された行政サービスについてお尋ねします。

1. 便利なので使いたい 2. 使い方がわからない
3. 必要なサービスがオンライン化されていない
4. セキュリティが不安で使いたくない 5. 窓口に行く方がよい

[鳥栖市での取組]

・住民票・税証明のコンビニ交付のほか、今後各種手続きのオンライン化を進める予定です。

質問 29 行政運営に関して、お聞きします。

鳥栖市では、行政運営の効率化、実効性の向上に取り組んでいます。
公共施設について、各地区にそれぞれ必要な施設はどれだと思いますか。
(複数回答)

1. 行政施設 2. 体育施設 3. 福祉施設 4. 公園

各地区とは、各小学校区を指します。
行政施設とは、市役所、消防署などです。
体育施設とは、グラウンドや体育館などです。
福祉施設とは、まちづくり推進センターや、社会福祉会館などです。

質問 30 広域行政に関して、お聞きします。

鳥栖市では、周辺自治体との連携に取り組んでいます。
公共施設について、近隣の市町間で利用してもよい(近隣にあればよい)施設はどれ
だと思いますか。(複数回答)

1. 行政施設 2. 体育施設 3. 文化会館 4. 福祉施設 5. 図書館
6. 大規模な総合公園 7. サンメッセのような交流施設

総合公園とは、運動施設や広場、大型遊具などを備えた広い公園のことです。

質問 31 公園に関して、お聞きします。

鳥栖市では、うるおいと安らぎのある緑の空間づくりに取り組んでいます。
市民公園と中央公園に充実させたい施設はどれですか。(複数回答)

1. 子供むけの遊具エリア 2. 芝の自由広場
3. カフェなどの飲食店がある憩いエリア
4. 小規模な屋外運動ができるスポーツエリア
5. 健康遊具・ランニングコースなどの健康エリア

質問 32 公共交通に関して、お聞きします。

鳥栖市では、将来的な路線バスやミニバスのあり方を検討しています。

自動車に乗れなくなった場合を前提にお答えください。その場合、路線バスやミニバスといった公共交通を利用すると思いますか。

1. 利用する
2. 路線や発着時刻等が分かりにくいいため利用しない
3. バス停が近くにないため利用しない
4. 乗りたい日時方向に路線が無いため利用しない
5. 想像できない

[鳥栖市での取組]

- ・鳥栖市は路線バス・ミニバスの維持のため、運営費を補助しています。
- 鳥栖市のバスマップはこちらです

市ホームページへのリンク

<https://www.city.tosu.lg.jp/soshiki/23/1945.html>



質問 33 災害に関して、お聞きします。

鳥栖市では、災害に強いまちづくりに取り組んでいます。

あなたは、災害情報の収集方法や避難場所の確認等、防災について考えたことがありますか。

1. 準備できている
2. 少し考えたことがある
3. 意識しているが難しい
4. あまり考えたことがない

[鳥栖市での取組]

- ・鳥栖市のハザードマップはこちらです

市ホームページへのリンク

<https://www.city.tosu.lg.jp/site/saigai-bousai/2926.html>



質問 34 医療体制に関して、お聞きします。

鳥栖市では、医療費の適正化に取り組んでいます。

『かかりつけ医』を持っていますか？

1. 持っている
2. 持っていない
3. わからない

・かかりつけ医とは、患者の身体、健康状態について最もよく理解している医師のことです。

質問 35 文化芸術に関して、お聞きします。

鳥栖市では、文化芸術に親しめる環境づくりに取り組んでいます。

文化芸術を観覧する、または自身で活動する機会がありますか。

1. ある
2. たまにある
3. どちらとも言えない
4. あまりない
5. ない

質問 36 スポーツに関して、お聞きします。

鳥栖市では、スポーツに親しめる環境づくりに取り組んでいます。
スポーツを観戦する、または自身でプレーする機会がありますか。

1. ある 2. たまにある 3. どちらとも言えない
4. あまりない 5. ない

質問 37 スポーツに関して、お聞きします。

鳥栖市では、スポーツに親しめる環境づくりに取り組んでいます。
鳥栖市において、充実させたい体育施設はありますか。（自由記述）

質問 38 今の鳥栖市について、ご意見、ご提言、ご感想がございましたら記入してください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

お答えいただきました調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、
令和5年11月30日(木)まで に郵便ポストに投函してください。

鳥栖市役所 政策部 総合政策課

〒841-8511 佐賀県鳥栖市宿町 1118 番地
電話 0942-85-3511 FAX 0942-82-1994
電子メール sougou@city.tosu.lg.jp